

**FILE No. 9**  
**保健福祉部**

ファイルは全22ファイルあり、**評価表の見方はFILE No. 1-1**にあります。  
評価結果の一覧は、**FILE No. 1-1、1-2の各課総括表**をご覧ください。  
ご覧になりたい事業名をクリックすると該当事務事業の表にジャンプします。

1 / 3

担当課名	整理番号	細番号	事務事業名
高齢者施策課(その1)	184		介護保険サービス利用状況調査研究事業
	186		財団法人杉並区さんあい公社運営助成
	188		訪問看護ステーション助成
	189		高齢者福祉部管理事務
	192		高齢者保健福祉施策の普及啓発
	193		介護保険事業者連絡会
	194		痴呆性高齢者グループホームケア検討会
	196		NPO等介護保険事業者資金貸付
	201		無料入浴
	205	1	高齢者在宅サービスセンター等維持運営
	205	2	高齢者在宅サービスセンター借料
	206		高齢者在宅サービスセンター開設準備
	208		上井草園運営連絡会
	225		老人クラブ運営助成
	226		老人クラブ指導者研修会
	227		シルバー人材センター支援
	233		社会福祉法人サービス利用者負担減免助成
	237		通所介護(高齢者在宅サービスセンター運営)
	238		短期入所生活介護(特別養護老人ホーム)
	239		介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
	302		高齢者いきいき・はつらつ事業
	303		高齢者人材バンク
	343		授産場維持管理・運営委託

**次のページへ**

高齢者施策課(その2) / 高齢者在宅サービス課(その1)

**次の次のページへ**

高齢者在宅サービス課(その2) / 介護保険課

**FILE No. 9**  
**保健福祉部**

ファイルは全22ファイルあり、**評価表の見方はFILE No. 1-1**にあります。  
 評価結果の一覧は、**FILE No. 1-1、1-2**の各課総括表をご覧ください。  
 ご覧になりたい事業名をクリックすると該当事務事業の表にジャンプします。

2 / 3

担当課名	整理番号	細番号	事務事業名
高齢者施策課(その2)	344		授産作業
	1016		介護保険運営協議会
	1017		介護保険相談
高齢者在宅サービス課 (その1)	185		介護支援専門員の養成
	195		ケアマネジャー研修
	197		老人保健医療等事務
	203		シルバーパス発行
	207		家族介護教室
	209		配食サービス
	210		在宅介護支援センター(ケア24)の運営
	211		高齢者理美容サービス
	212		寝具洗濯乾燥サービス
	213		福祉機器展示センター運営
	214	2	住宅改修業者研修
	215		福祉電話等設置
	217		友愛訪問員派遣
	218		高齢者緊急通報システム(消防庁)
	219		高齢者緊急通報システム(民間)
	220		高齢者火災安全システム
	221		徘徊高齢者探索システム
	222		老人福祉手当
	224		家族介護用品の支給
	229	1	ケアプラン作成
229	2	訪問保健指導	

[前のページへ](#)
[次のページへ](#)
[高齢者施策課\(その1\)](#)
[高齢者在宅サービス課\(その2\) / 介護保険課](#)

**FILE No. 9**  
**保健福祉部**

ファイルは全22ファイルあり、**評価表の見方はFILE No. 1-1**にあります。  
評価結果の一覧は、**FILE No. 1-1、1-2**の各課総括表をご覧ください。  
ご覧になりたい事業名をクリックすると該当事務事業の表にジャンプします。

3 / 3

担当課名	整理番号	細番号	事務事業名
高齢者在宅サービス課 (その2)	229	3	訪問機能訓練指導
	229	4	訪問歯科指導
	229	5	訪問栄養指導
	229	6	訓練指導
	229	7	地域リハビリ自主グループ支援
	230		若年性痴呆症者支援
	1011		老人保健制度の医療の給付等
介護保険課	231		住宅改修支援
	232		短期入所振替利用援助
	234		ホームヘルプサービス利用者負担助成
	235		高額介護サービス費等資金貸付基金
	236		介護保険円滑導入基金
	1012		介護保険管理事務(庶務事務)
	1013		介護保険資格賦課事務
	1014		介護保険収納事務
	1015		介護保険給付事務
	1018		東京都国民健康保険団体連合会負担金
	1019		要介護認定
	1020		介護保険趣旨普及
	1021		介護サービス費等の支給
1022		財政安定化基金拠出金	
1023		介護保険給付費準備基金	

**前のページへ**

高齢者施策課(その2) / 高齢者在宅サービス課(その1)

**前の前のページへ**

高齢者施策課(その1)

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		介護保険サービス利用状況調査研究事業				整理番号	184		細番号
所属部課名 保健福祉部高齢者施策課		コード	091401		連絡先電話番号	1122		昨年度整理番号	
係名 管理係		上位施策名						NO	
予算事業名 在宅福祉の推進		コード	20400		介護保険サービスの基盤整備				32
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期	<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有		平成 12年度		(1) 介護保険法			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区介護保険条例					
	要支援、要介護認定を受けた在宅の被保険者 7,558人 認定の結果非該当(自立)となつた第2号被保険者 430人 無作為抽出した介護支援専門員(ケアマネージャー) 7人					(3)			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 及び の対象者にアンケート調査を行い、利用者満足度、サービス利用の問題点、認定に対する納得度、制度への要望等現状や意識を把握する。 の対象者にグループインタビューを行い、問題点等実態を把握する。					活動指標名(式)			
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 実態を把握することにより、区の介護保険サービス及び保険外サービスの改善整備や質の向上を図り、利用者の利便性を高める。					成果指標名(式)			
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 介護保険への信頼感が高まり、介護保険サービスの基盤整備の充実が図れる。					(1) アンケートの回収率				
					(2)				
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%
				計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)	件			8,320	7,995			
	活動指標(2)								
	成果指標(1)	%			50.00	81.07			
	成果指標(2)								
総事業費・コスト把握	事業費	千円			4,857	4,505			
	職員数(正規   非常勤)	人			0.20	0.20			特記事項 平成12年度の臨時的事業である。
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	1,815	1,815	0	
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	
	総事業費 + +	千円	0	0	6,672	6,320	0		
	単位あたりコスト ÷	円			802	790			
	財源	受益者負担分	千円						
		国・都からの支出金	千円			6,100	6,100		
		その他特定財源	千円						
		特定財源計 + +	千円	0	0	6,100	6,100	0	
差引:一般財源 -	千円	0	0	572	220	0			
受益者負担比率 ÷	%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	平成12年度から介護保険制度が発足した。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	概ね協力は得られるが、細かい調査項目が負担であるなどの苦情がある。							
	今後の予測	要介護高齢者の増加等により、介護保険制度の要望が変化してくる。							

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		財団法人杉並区さんあい公社運営助成				整理番号	186		細番号							
所属部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	91401	連絡先電話番号	1122		昨年度整理番号	180						
係名				管理係		上位施策名				NO						
予算事業名				財団法人杉並区さんあい公社		コード	20800		地域福祉の基盤整備		35					
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		3年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期				○無 ●有		平成 14年度		(1) 杉並区財団法人に対する助成に関する条例							
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		財団法人杉並区さんあい公社					(2) 杉並区財団法人に対する助成に関する条例施行規則				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				区が設立した財団法人に、その運営及び事業に要する経費の一部を助成する。								活動指標名(式)		(1) 利用会員数	
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				収支を均衡させ、法人経営の安定財政の健全化を図る。								成果指標名(式)		(1) 収支比率 = 総収入 ÷ 総支出	
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 公社の健全な運営によるサービス提供により、要援護高齢者等が、安心して在宅生活を送ることができる地域福祉の基盤が強化された。																
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%						
					計画	実績		年度								
指標	活動指標(1)		世帯	1,459	1,382	1,382	1,242	1,242								
	活動指標(2)															
	成果指標(1)		%	100.00	103.79	100.18	103.47	100.19								
	成果指標(2)															
総事業費・コスト把握	事業費		千円	229,112	241,184	238,474	214,325	220,499								
	職員数(正規   非常勤)		人	0.75	0.80	0.80	0.40	0.30	特記事項							
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	6,805	7,258	7,258	3,629	2,722								
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0								
	総事業費 ++		千円	235,917	248,442	245,732	217,954	223,221								
	単位あたりコスト ÷		円	161,698	179,770	177,809	175,486	179,727								
	財源	受益者負担分		千円												
		国・都からの支出金		千円												
		その他特定財源		千円												
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0	0							
差引:一般財源 -		千円	235,917	248,442	245,732	217,954	223,221									
受益者負担比率 ÷		%														
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		高齢者人口 平成3年 63,234人(12.31%) 平成13年 86,050人(16.66%) ねたきり等高齢者数 平成3年 2,656人 平成13年 3,872人 ひとりぐらし高齢者数 平成3年 7,525人 平成13年 10,928人 平成12年度から介護保険制度開始													
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)															
	今後の予測		平成17年度には、区の高齢者人口が総人口の17.9%になると推計されている。また、ねたきり高齢者は4,124人、ひとりぐらし高齢者は11,640人と推計されている。													

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		訪問看護ステーション助成				整理番号	188		細番号	
所属部課名		保健福祉部 高齢者施策課		コード	091401		連絡先電話番号	1122		
係名		管理係		上位施策名				NO		
予算事業名		訪問看護ステーション助成		コード	21220		介護保険サービスの基盤整備		32	
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		7年度		根拠法令等			
	事業終期		○無 ●有		平成 11年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業 (1) 杉並区訪問看護ステーション補助金交付要綱 (2) (3)			
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内に訪問看護ステーションを設置した法人等							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		訪問看護ステーションに対し、運営助成を行う。				活動指標名(式)			
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		訪問看護ステーションの経営の安定を図る。				成果指標名(式)			
						(1) 指定訪問看護ステーション数 (2)				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 居宅サービスを提供する事業者の運営を安定化させることにより、地域における福祉基盤の確立を図る。										
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
				計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)	所	9	14	7	5	3			
	活動指標(2)									
	成果指標(1)	所	7	13	13	19	19			
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	34,000	54,211	28,000	28,000	17,000		
	職員数(正規   非常勤)		人	1.30	0.30	0.10	0.20	0.20	特記事項 活動指標 内訳 10年度実績 開設2所・運営7所 11年度実績 開設5所・運営9所 12年度計画 運営7所 実施計画(10~12)数値 12年度実績 運営5所	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	11,795	2,722	907	1,815	1,815		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	45,795	56,933	28,907	29,815	18,815		
	単位あたりコスト ÷		円	5,088,322	4,066,636	4,129,614	5,962,920	6,271,533		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都からの支出金		千円						
		その他特定財源		千円						
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	45,795	56,933	28,907	29,815	18,815			
受益者負担比率 ÷		%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		国、都の助成制度に上乗せし、区の助成を行うことにより、区内の訪問看護ステーションの助成を支援してきたが、平成11年4月には区内11ヵ所に設置され、事業が一般化した。平成12年度からは、介護保険の訪問看護事業として位置付けられた。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)									
	今後の予測		介護保険においては、保険医療機関は訪問看護事業者のみなし指定の対象となるため、サービスを提供する事業者が増大した。							

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者福祉部管理事務				整理番号	189		細番号	
所属部課名		保健福祉部 高齢者施策課		コード	091401		連絡先電話番号	1122		
係名		管理係		上位施策名					NO	
予算事業名		高齢者福祉部一般管理		コード	21580		保健福祉施策の総合的推進		21	
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 杉並区組織条例 (2) 杉並区職員の旅費に関する条例 (3)		
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		職員、部内組織				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）			事務事業を執行していくために必要な事務用消耗品類、出張旅費、その他部の管理運営にかかる経費を効率的に執行する。		活動指標名(式)		(1) 高齢者福祉部職員数 (2)		
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）			事務事業を円滑に執行する。		成果指標名(式)		(1) (2)		
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 適切な事務管理を行い、円滑な事務事業の執行を支援する。										
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%	
					計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)				152	152	144			
	活動指標(2)									
	成果指標(1)									
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円			2,420	1,696	2,064		
	職員数(正規   非常勤)		人			0.50	0.50	0.50	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	4,537	4,537	4,537		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	0	0	6,957	6,233	6,601		
	単位あたりコスト ÷		円			45,766	41,003	45,837		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都からの支出金		千円						
		その他特定財源		千円						
		特定財源計 + +		千円	0	0	0	0	0	
差引:一般財源 -		千円	0	0	6,957	6,233	6,601			
受益者負担比率 ÷		%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成11年度組織改正により、厚生部から高齢者福祉部が独立した。平成13年度全庁的な組織改正において、保健福祉部に統合される。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)									
	今後の予測		部の統合により、庶務的部門・業務の集約ができる。庁内ネットワークの充実により、業務のOA化・即時性が向上される。							



# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者保健福祉施策の普及啓発				整理番号	192		細番号						
所属部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091401	連絡先電話番号	1122		昨年度整理番号	184					
係名				管理係		上位施策名				NO					
予算事業名				高齢者福祉施策の計画策定		コード	21700		保健福祉施策の総合的推進		21				
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		63年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期				<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 老人福祉法						
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		65歳以上の区民、高齢者をとりまく区民、高齢者サービスに関わる団体、介護保険サービスの利用者					(2) 介護保険法			
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				・「高齢者のしおり」「介護保険サービス事業者ガイドブック」を65歳以上の方がいる世帯等に配布。 ・区の保健福祉施策を体系的に整理し、情報提供を行う。								(3)		
	活動指標名(式)												(1) 「高齢者のしおり」発行部数		
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				・情報提供により、高齢者等が保健福祉施策について理解を深め、適切にサービスを利用できる。								成果指標名(式)		(1) 配布率(配布数÷高齢者人口)	
												(2)			
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか															
高齢者等への体系的・総合的な情報提供により、保健福祉施策の総合的推進が図れる。															
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度		目標値		目標値に対する12年度の達成率%				
					計画	実績	計画		年度						
指標	活動指標(1)		冊	82,000	0	90,000	90,000	0							
	活動指標(2)		冊				9,000								
	成果指標(1)		%	78.6		81.3	74.6								
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	18,843	1,364	12,054	10,067	24							
	職員数(正規 非常勤)		人	0.20	0.20	0.35	0.35	0.10		特記事項 11年度は、単年度事業として「国際高齢者年記念講演会」を実施した。					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,815	1,815	3,176	3,176	907						
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0						
	総事業費 ++		千円	20,658	3,179	15,230	13,243	931							
	単位あたりコスト ÷		円	252		169	147								
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都からの支出金		千円											
		その他特定財源		千円											
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0	0						
差引:一般財源 -		千円	20,658	3,179	15,230	13,243	931								
受益者負担比率 ÷		%													
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		高齢者人口 昭和63年 57,858人(11.07%) 平成13年 86,050人(16.66%) ねたきり等高齢者数 昭和63年 2,546人 平成13年 3,872人 ひとりぐらし高齢者数 昭和63年 4,918人 平成13年 10,928人 平成12年度から介護保険制度が開始した。												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		「高齢者のしおり」の各戸配布に関して、サービス等を必要としない方からの苦情が寄せられる。												
	今後の予測		平成17年度には、区の高齢者人口が総人口の17.9%になると推計されている。また、ねたきり等高齢者は4,124人、ひとりぐらし高齢者は11,640人と推計されている。												



# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		介護保険事業者連絡会				整理番号	193		細番号					
所属部課名		保険福祉部高齢者施策課		コード	91401		連絡先電話番号	1126		昨年度整理番号	227			
係名 事業支援主査					上位施策名					NO				
予算事業名 高齢者福祉施策の計画策定					コード	21700		介護保険サービスの基盤整備			32			
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 10 年度					根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度					(1) 介護保険法								
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 居宅介護支援事業者、サービス事業者等					(2) 介護保険条例								
						(3)								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 区から介護保険のサービス事業者に対し、適時に、介護保険の認定状況、給付事務及び苦情・要望等の事業に必要な情報提供や連絡調整を行う。					活動指標名(式) (1) 連絡会の開催回数 (2) 連絡会に参加した事業者数								
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 事業に必要な情報を提供し、活用してもらうことで、事業運営の円滑化、利用者の保護、サービスの質の向上を図る。					成果指標名(式) (1) 開催通知を送付した事業者に対する参加した事業者の割合（出席率） (2)									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 適正で質の高いサービスを確認することで、利用者が安心して利用できるサービス基盤を整備する。														
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度計画		目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
							計画	実績			年度			
指標	活動指標(1)		回	2		4		6		6		7		
	活動指標(2)		所	-		329		500		302		380		
	成果指標(1)		%					100		66.9		100		
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	58		308		234		228		474		
	職員数(正規   非常勤)		人	0.50	0.00	0.57	0.00	0.50	0.00	0.90	0.00	0.90	0.00	特記事項 10・11年度は、介護保険制度準備事業として実施した。
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	4,537		5,172		4,537		8,166		8,166	
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0	
	総事業費 + +		千円	4,595		5,480		4,771		8,394		8,640		
	単位あたりコスト ÷		円	2,297,250		1,369,903		795,083		1,398,950		1,234,243		
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都からの支出金		千円					175		175			
		その他特定財源		千円										
		特定財源計 + +		千円	0		0		175		175		0	
差引:一般財源 -		千円	4,595		5,480		4,596		8,219		8,640			
受益者負担比率 ÷		%												
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		杉並区介護保険事業計画の推計によると、区内の平成13年度の介護保険の給付対象となる第一号被保険者数は、10,865人、出現率(65歳以上人口比)は12.5%である。平成13年6月30日現在の同数値は、10,076人、出現率は11.7%である。											
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		サービス担当者がよく変わる。サービスを利用する際の契約が難しい。											
	今後の予測		介護保険事業計画の推計では、平成16年度の介護保険の給付対象となる第一号被保険者数は11,644人、出現率は12.8%となっている。											

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		痴呆性高齢者グループホームケア検討会				整理番号	194		細番号		
所属部課名		保険福祉部高齢者施策課		コード	091401	連絡先電話番号	1126		昨年度整理番号		
係名 事業支援主査					上位施策名			NO			
予算事業名 高齢者福祉施策の計画策定					コード	21700		介護保険基盤整備			
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 13年度				(1) 杉並区痴呆性高齢者グループホームケア検討会設置要領						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 痴呆性高齢者グループホーム				(2)						
					(3)						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 痴呆性高齢者グループホームケアのあり方とケアの質の確保の仕組みについて学識経験者及び実践者の参加を得て検討する。 12年度に3回、13年度に3回、計6回で終了。				活動指標名(式) (1) 検討会開催回数  (2)						
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 検討結果を踏まえ、痴呆性高齢者グループホームのケアの質の向上を図る。				成果指標名(式) (1) 検討会委員出席率  (2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 質の高い介護保険サービスの提供ができる。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画		目標値	目標値に対する12年度の達成率%	
					計画	実績			13年度		
指標	活動指標(1)		回			3	3	3	6	50.0	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%			100	95.2	100			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円			360	104	474			
	職員数(正規・非常勤)		人			0.60	0.00	0.60	0.00	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	5,444	5,444	5,444			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	0	0	5,804	5,548	5,918			
	単位あたりコスト ÷		円			1,934,600	1,849,267	1,972,600			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都からの支出金		千円			360	104			
		その他特定財源		千円							
		特定財源計 ++		千円	0	0	360	104	0		
差引：一般財源 -		千円	0	0	5,444	5,444	5,918				
受益者負担比率 ÷		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成12年度区内1ヶ所グループホーム開設。単独型で開設後まもなく、ケアの質や地域との交流が十分とは言えない。平成13年度からは痴呆性グループホームについては適正な運営を確保するために身近な市町村との情報収集や指導助言等の連携が強化された。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		痴呆性高齢者の介護保険サービスの一つとして安心して利用できる質の高いケアを望んでいる。								
	今後の予測		職員の研修や情報開示ならびにサービスの自己評価、第三者評価などの仕組みによって、ケアの質の確保向上がはかられることが予測される。								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		NPO等介護保険事業者資金貸付				整理番号	196		細番号	
所属部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	91401	連絡先電話番号	1126		昨年度整理番号	
係名 事業支援主査					上位施策名				NO	
予算事業名 NPO等介護保険事業者資金貸付					コード	21700		介護保険サービスの基盤整備		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 杉並区NPO等介護保険事業者資金貸付要綱					
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 介護保険事業者であるNPO法人、基準該当事業者等				(2)					
					(3)					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 介護保険事業者に参入するNPO法人、営利を目的としない基準該当事業者等に対し、事業設立資金、運転資金及び事業転換資金のうち必要な資金を無利子で貸し付ける。				活動指標名(式)					
					(1) 資金貸付を行った事業者数					
				(2) 貸付金額の合計						
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 必要な資金を貸し付けることにより、NPO法人等の介護保険への参入を促進する。				成果指標名(式)						
				(1) 資金貸付を受けて介護保険に参入した事業者数						
				(2)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 地域に根ざして活動するサービス事業者を育成し、介護サービス基盤の充実を図る。										
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
				計画	実績		年度	年度		
指標	活動指標(1)	団体			6	4	13			
	活動指標(2)	千円			30,000	24,300	50,000			
	成果指標(1)	団体			5	3	5			
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円			30,000	24,300	50,064			
	職員数(正規 非常勤)	人			0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	2,722	2,722	2,722		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++	千円	0	0	32,722	27,022	52,786			
	単位あたりコスト ÷	円			5,453,650	6,755,475	4,060,454			
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都からの支出金	千円							
		その他特定財源	千円			30,000	24,300			
		特定財源計 ++	千円	0	0	30,000	24,300	0		
差引:一般財源 -		千円	0	0	2,722	2,722	52,786			
受益者負担比率 ÷	%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	杉並区介護保険事業計画の推計によると、区内の平成13年度の介護保険の給付対象となる第一号被保険者数は、10,865人、出現率(65歳以上人口比)は12.5%である。平成13年6月30日現在の同数値は、10,076人、出現率は11.7%である。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)									
	今後の予測	杉並区介護保険事業計画の推計では、区内の平成16年度の介護保険の給付対象となる第一号被保険者数は11,644人、出現率は12.8%となっている。								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		無料入浴			整理番号	201		細番号			
所属部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091401		連絡先電話番号	1122			
係名		管理係		上位施策名				NO			
予算事業名		無料入浴		コード	22400		高年齢者の社会参加と交流の拡大		30		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		49 年度		根拠法令等				
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区高齢者無料入浴事業実施要綱 (2) (3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区内の公衆浴場を月2回の日曜日と敬老の日(午後2時~4時)に高齢者に無料で開放する。				活動指標名(式)				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		高齢者に憩いの場を提供し、高齢者同士が親睦を深め、交流を図るきっかけづくりとする。				成果指標名(式)				
		高齢者に憩いの場を提供し、高齢者同士が親睦を深め、交流を図るきっかけづくりとする。				(1) 利用率 = 年間延利用者数 ÷ 60歳以上人口 (2)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 当該事業をきっかけに高齢者同士が親睦を深め、交流を図ることで、高齢者の社会参加と交流の拡大を図れる。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		人	168,017	164,076	150,000	152,361	140,000			
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		人	1.57	1.51	1.35	1.38	1.24			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	63,266	61,164	57,753	54,659	42,753			
	職員数(正規   非常勤)		人	0.20	0.11	0.10	0.10	0.20	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,815	998	907	907	1,815			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	65,081	62,162	58,660	55,566	44,568			
	単位あたりコスト ÷		円	387	379	391	365	318			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都からの支出金		千円			27,914	27,914	21,375		
		その他特定財源		千円							
		特定財源計 + +		千円	0	0	27,914	27,914	21,375		
差引:一般財源 -		千円	65,081	62,162	30,746	27,652	23,193				
受益者負担比率 ÷		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		昭和49年111浴場 平成13年度56浴場 60歳以上の人口(総人口に対する比率) 昭和50年 58,463人(10.9%) 平成13年 113,003人(16.66%)								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		特になし								
	今後の予測		・高齢者の増加(60歳以上) ・浴場数の減少								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者在宅サービスセンター等維持運営				整理番号	205		細番号	1		
所属部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091404		連絡先電話番号	1124		昨年度整理番号	193(1)	
係名		介護施設係				上位施策名				NO		
予算事業名		高齢者在宅サービスセンター運営		コード	23200		介護保険サービス基盤整備				32	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		59 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 老人福祉法					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		事業受託社会福祉法人・NPO法人		(2) 介護保険法					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		各社会福祉法人、各NPO法人へ情報提供や情報収集・交換し密な連携を図る。また、施設について、利用者に良好なサービスが提供できるよう維持管理を行う。				活動指標名(式)					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		各高齢者在宅サービスセンター事業を円滑かつ効率的に運営にする。				成果指標名(式)					
						(1) (代)所長会出席率						
						(2) 利用延べ人員						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 高齢者がより豊かに自立した生活が送れるようにする。												
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
				計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)	回	4	4	12	12	12					
	活動指標(2)	人	248	293	575	575	580					
	成果指標(1)	%	100	100	100	100	100					
	成果指標(2)	人	40,699	45,085		88,918						
総事業費・コスト把握	事業費	千円	85,945	80,488	60	3,620	60					
	職員数(正規 非常勤)	人	0.10	0.10	0.01	0.01	0.01		特記事項 12年度当初予算より支出実績が多かったのは、緊急な改修工事が発生したためである。			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	907	907	91	91	91				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++	千円	86,852	81,395	151	3,711	151					
	単位あたりコスト ÷	円	21,713,075	20,348,825	12,561	309,228	12,561					
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都からの支出金	千円									
		その他特定財源	千円									
		特定財源計 ++	千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -	千円	86,852	81,395	151	3,711	151						
受益者負担比率 ÷	%											
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	平成12年4月より介護保険制度が導入され介護報酬額を基本とした事業運営に転換した。このため所長会を月1回と定例化し円滑な運営を図ってきた。また、11年度までは、事業委託料とは別に区が修繕費をはじめとする施設維持管理費を支出してきたが介護報酬にはこれら経費も含まれているとの見解であるので、各事業受託法人が事業委託料の中から支出することとした。ただし、緊急改修や建物本体に係る修繕については、協議の上、区が支出する。										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)											
	今後の予測	平成17年 高齢者人口 91,651人 要介護高齢者数 4,124人										



# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者在宅サービスセンター借料				整理番号	205		細番号	2	
所属部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091404	連絡先電話番号	1124		昨年度整理番号		
係名		介護施設係		上位施策名					NO		
予算事業名		高齢者在宅サービスセンター運営		コード	23200	介護保険サービスの基盤整備					32
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		59 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 老人福祉法				
	対象施設所有者		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区介護保険条例						
			(3) 杉並区立高齢者在宅サービスセンター条例								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		活動指標名(式)								
民間施設を借上げて、開設している高齢者在宅サービスセンターの家賃を支払う。		(1) 借上げ箇所									
		(2) 延利用人員									
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		成果指標名(式)									
適切な使用料を払うことにより、施設を区へ提供してもらう。		(1) (代)稼働率 延利用人員 ÷ (年間開所日数 × 1日定員) × 100									
		(2)									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 施設の提供により、当該施設を利用したディサービスの提供が可能となり、介護保険の基盤整備が図れる。											
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%		
				計画	実績		年度	年度			
指標	活動指標(1)	所	3	4	4	4	4				
	活動指標(2)	人	13938	14847	55860	32423	55860				
	成果指標(1)	%	81	87	100	58	100				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	143,927	202,436	211,243	210,643	211,243				
	職員数(正規   非常勤)	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	特記事項			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	907	907	907	907	907			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	144,834	203,343	212,150	211,550	212,150				
	単位あたりコスト ÷	円	48,278,100	50,835,825	53,037,575	52,887,575	53,037,575				
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都からの支出金	千円								
		その他特定財源	千円								
		特定財源計 + +	千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -	千円	144,834	203,343	212,150	211,550	212,150					
受益者負担比率 ÷	%										
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	平成13年 高齢者人口 86,050人 要介護高齢者の数 3,872人									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	なし									
	今後の予測	なし									



# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者在宅サービスセンター開設準備				整理番号	206		細番号		
所属部課名		保健福祉部高齢者施設課		コード	091404	連絡先電話番号	1124		昨年度整理番号		
係名					介護施設係		上位施策名		NO		
予算事業名					高齢者在宅サービスセンター運営		コード	23200			
					介護保険サービスの基盤整備		32				
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		12年度		根拠法令等		
	事業終期				○無 ●有		平成 12年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 老人福祉法 (2) 介護保険法 (3) 杉並区立高齢者在宅サービスセンター条例				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名(式)						
	高齢者在宅サービスセンターを開設するため、備品等の整備。受託法人と運営の取り決めを行う。				(1) 開設施設数  (2)						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名(式)						
高齢者在宅サービスセンター計画とおりに開設し、受託事業者の円滑な運営を確保する。				(1) 施設数累計  (2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 高齢者在宅サービスセンターの開設により、通所デイサービスの提供を行い高齢者がより豊かに、より自立した生活が送れるようにする。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		所			3	3				
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		所			17	17				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円			23,476	23,476				
	職員数(正規 非常勤)		人			0.49	0.49			特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	4,446	4,446	0			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	0	0	27,922	27,922	0			
	単位あたりコスト ÷		円			9,307,257	9,307,257				
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円							
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	0	0	27,922	27,922	0				
受益者負担比率 ÷		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		高齢者人口 83,620人、要介護高齢者数 4,097人、平成12年4月実施の介護保険制度のサービス供給基盤整備するため3所新規施設を開設した。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)										
	今後の予測		高齢者人口 91,651人、要介護高齢者数 4,124人								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		上井草園運営連絡会			整理番号	208		細番号		
所属部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091404		連絡先電話番号	1124		
係名		介護施設係		上位施策名				NO		
予算事業名		高齢者在宅サービスセンター運営		コード	23200		介護保険サービスの基盤整備			
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		9 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 老人福祉法 (2) 杉並区立特別養護老人ホーム条例 (3)			
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		区立特別養護老人ホーム上井草園					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		事業受託社会福祉法人職員、上井草園管理医、協力医療機関医師、区所管課職員、福祉事務所をはじめとする区関連課職員で上井草園の運営について、連絡調整を行う。		活動指標名(式)		(1) 開催回数  (2)			
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）		特別養護老人ホーム上井草園のサービスを向上させるとともに、円滑かつ効率的な運営を確保する。		成果指標名(式)		(1) 出席率  (2)			
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 高齢者がより豊かに、より自立した生活が送れるようにする。										
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%	
					計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		回			3	1	2		
	活動指標(2)									
	成果指標(1)		%			100	88	100		
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円			36	6	24		
	職員数(正規・非常勤)		人			0.00	0.00	0.00	特記事項 平成11年度までは、特別養護老人ホーム運営の一環であったので、特別養護老人ホーム運営として一括評価していた。12年度より、別立てをしたので、個別評価としては12年度から行う。	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	0	0	0		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	0	0	36	6	24		
	単位あたりコスト ÷		円			12,000	6,000	12,000		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都からの支出金		千円						
		その他特定財源		千円						
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	0	0	36	6	24			
受益者負担比率 ÷		%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成9年 高齢者人口 76,371人 要介護高齢者数 3,742人 平成13年 高齢者人口 86,050人 要介護高齢者数 3,872人							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		特になし							
	今後の予測		平成17年 高齢者人口 91,651人 要介護高齢者数 4,124人							

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		老人クラブ運営助成				整理番号	225		細番号				
所属部課名		保健福祉部 高齢者施策課		コード	091401	連絡先電話番号	1123		昨年度整理番号	219			
係名		管理係			上位施策名				NO				
予算事業名		老人クラブ		コード	25000		高齢者の社会参加と交流の拡大			30			
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 32 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 老人福祉法第4条、第13条第2項								
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 杉並区老人クラブ 杉並区老人クラブ連合会				(2) 杉並区老人クラブ助成要綱 (3) 杉並区老人クラブ連合会補助金交付要綱								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 健康・生きがい・その他社会活動・クラブ運営上必要な活動に対して定例活動費を助成している。平成12年度からは定例活動費を減額、それに代るものとして、社会奉仕・友愛活動の実績に対して社会福祉活動費を新設し、助成している。				活動指標名(式) (1) 老人クラブ加入人員 (2) 地域福祉活動費受給クラブ割合 = 地域福祉活動費の受給のあるクラブの数 ÷ 全クラブ数 × 100								
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 社会奉仕活動・友愛活動など老人クラブ活動の活性化により、老人クラブ数及び会員を増大させる。				成果指標名(式) (1) 老人クラブ加入率 (2) 地域福祉活動月数 = 総支給月数 ÷ クラブ数								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 老人クラブ及び会員の増加、老人クラブ活動の活性化により高齢者の社会参加と交流を拡大し、いきいきとした活力ある高齢社会の実現に役立っている。													
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
					計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)		人	11,606	11,800	11,500	10,829	10,000					
	活動指標(2)		%				96	98					
	成果指標(1)		%	10.8	10.6	11	9.8	9					
	成果指標(2)		月				10.5	11.0					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	40,631	40,087	36,530	34,776	37,140					
	職員数(正規   非常勤)		人	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	6,351	6,351	6,351	6,351	6,351	成果指標(2)については、地域福祉活動費が平成12年度からの創設であるため、12年度以前の実績はなし				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 + +		千円	46,982	46,438	42,881	41,127	43,491					
	単位あたりコスト ÷		円	4,048	3,935	3,729	3,798	4,349					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都からの支出金		千円	4,898	4,345	3,992	3,835			3,992		
		その他特定財源		千円									
		特定財源計 + +		千円	4,898	4,345	3,992	3,835			3,992		
差引: 一般財源 -		千円	42,084	42,093	38,889	37,292	39,499						
受益者負担比率 ÷		%											
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		高齢者人口の推移: 昭和50年 昭和55年 昭和60年 平成2年 平成7年 平成12年における高齢化率(高齢者人口)は、7.42%(39,699) 9.04%(47,382) 10.22%(53,365) 11.84%(61,079) 14.29%(72,012) 16.28%(83,620) 老人クラブ加入状況: 平成8年~12年における60歳以上の人口に対する加入者数(率) 12,022人(11.7%) 11,865人(11.3%) 11,606(10.8%) 11,350(10.6%)										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		高齢者人口の増加と価値観の多様化に伴い、老人クラブに所属しない同様な活動をする団体からは「老人クラブだけに助成をするのは不公平である。」との意見が寄せられている。										
	今後の予測		60歳以上の高齢者人口(率)の予測: 平成12~17年110,791(21.57%)、113,003(21.88%)、116,533(22.78%)、118,673(23.25%)、120,443(23.67%)、121,228(23.92%)、(平成12年、13年は1月1日住登+外登人口、14~17年は平成12年2月1日時点の介護支援課の推計数値)										

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		老人クラブ指導者研修会				整理番号	226		細番号		
所属部課名		保健福祉部 高齢者施策課		コード	091401	連絡先電話番号	1123		昨年度整理番号	220	
係名				管理係		上位施策名				NO	
予算事業名				老人クラブ		高齢者の社会参加と交流の拡大				30	
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		32年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期				●無 ○有		平成年度		(1) 老人福祉法第4条、第13条第2項		
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		杉並区老人クラブ 杉並区老人クラブ連合会		(2) 杉並区老人クラブ助成要綱		
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				年2回の指導者研修、吾妻町の老人クラブ連合会との交流事業を通じ、老人クラブの活動が、時代・社会の要請に応えられるものとなるよう支援する。		活動指標名(式)		(1) 指導者研修会参加者延べ人数		
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				老人クラブ指導者の資質向上を図る。		成果指標名(式)		(1) 研修会参加率 = 参加者 ÷ 対象者 × 100		
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか											
指導者養成により老人クラブの活性化が図られ、そのことにより高齢者の社会参加と交流を拡大し、いきいきとした活力ある高齢社会の実現に役立っている。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		人	196	198	197	193	192			
	活動指標(2)		回	2	2	2	2	2			
	成果指標(1)		%	98	98	98.9	96.9	99			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	425	187	259	131	221			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,815	1,815	1,815	1,815	1,815			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	2,240	2,002	2,074	1,946	2,036			
	単位あたりコスト ÷		円	11,427	10,109	10,526	10,081	10,602			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円							
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	2,240	2,002	2,074	1,946	2,036				
受益者負担比率 ÷		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		老人クラブ加入者数の推移:平成8年~12年における60歳以上の人口に対する加入者数(率)12,022人(11.7%) 11,865人(11.3%) 11,606(10.8%) 11,350(10.6%) 10,829(9.8%)、平成10年度から老人クラブの数: 年度100クラブ、 年度101クラブ、 年度99(8月から100クラブ)、 年度97クラブ								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		特になし								
	今後の予測		60歳以上の高齢者人口(率)の予測:平成12~17年110,791(21.57%)、113,003(21.88%)、116,533(22.78%)、118,673(23.25%)、120,443(23.67%)、121,228(23.92%)、(平成12年、13年は1月1日住登+外登人口、14~17年は平成12年2月1日時点の介護支援課の推計数値)								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		シルバー人材センター支援				整理番号	227		細番号					
所属部課名		保健福祉部 高齢者施策課		コード	091401		連絡先電話番号	1122		昨年度整理番号	221・222			
係名				管理係				上位施策名				NO		
予算事業名				シルバー人材センター				コード	25200		高齢者の社会参加と交流の拡大		30	
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		54年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期				<input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 杉並区シルバー人材センター補助金交付要綱					
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		社団法人杉並区シルバー人材センター		(2) 杉並区シルバー人材センター運用資金貸付要綱					
									(3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				杉並区シルバー人材センターの円滑な事業運営のため、補助金の交付及び運用資金の貸し付けを行う。				活動指標名(式)				(1) 就業実人員	
												(2) 年間契約件数		
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				シルバー人材センターの事業運営の安定を図る。				成果指標名(式)				(1) 会員数		
												(2) 会員の就業率(会員数÷就業実人員)		
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか														
シルバー人材センターの運営により、高齢者の臨時的・短期的就労が確保され、高齢者の社会参加の機会を拡大し、いきがいの充実を図れる。														
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%					
					計画	実績		15年度						
指標	活動指標(1)		人	1,232	1,251	1,300	1,427	1,450						
	活動指標(2)		件	5,636	6,469	6,300	7,960	6,100						
	成果指標(1)		人	1,821	1,913	2,000	2,084	2,200						
	成果指標(2)		%	68	65	65	69	66	70	98.6				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	92,465	93,881	129,893	127,972	167,241						
	職員数(正規 非常勤)		人	0.20	0.11	0.20	0.20	0.30	特記事項					
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,815	998	1,815	1,815	2,722						
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0						
	総事業費 ++		千円	94,280	94,879	131,708	129,787	169,963						
	単位あたりコスト ÷		円	76,526	75,843	101,314	90,951	117,216						
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都からの支出金		千円	17,485	17,060	17,060	15,060	15,060					
		その他特定財源		千円	10,000	8,000	7,000	7,000	5,000					
		特定財源計 ++		千円	27,485	25,060	24,060	22,060	20,060					
差引:一般財源 -		千円	66,795	69,819	107,648	107,727	149,903							
受益者負担比率 ÷		%												
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		高齢者人口 昭和54年 45,145人(8.57%) 平成13年 86,050人(16.66%) シルバー人材センター会員数 昭和54年度 1,280人 平成12年度 2,084人											
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)													
	今後の予測		就業を希望する高齢者の増加											



# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		社会福祉法人サービス利用者負担軽減助成				整理番号	233		細番号	
所属部課名 保健福祉部高齢者施策課		コード	091401		連絡先電話番号	1122		昨年度整理番号		
係名 管理係					上位施策名			NO		
予算事業名 低所得者利用者負担軽減		コード	25740		介護保険サービスの基盤整備			32		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 社会福祉法人等における介護保険サービス利用者負担軽減措置運営要綱					
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2)					
	介護保険事業（介護老人福祉施設、通所介護、短期入所生活介護、訪問介護）を実施している社会福祉法人				(3)					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				活動指標名(式)					
	介護保険法の施行に伴う利用者負担の激変緩和のため、国の特別対策により、社会福祉法人が介護保険サービスの提供を行うにあたり、低所得者のうち特に生計が困難である利用者に対し利用者負担額の減免を行った場合その費用の一部を助成する。				(1) 減免措置を実施した社会福祉法人の数 (2)					
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）				成果指標名(式)					
社会福祉法人が低所得者に対する利用者負担軽減措置を実施するようにする。				(1) 実施率(軽減措置を実施した社会福祉法人数 ÷ 社会福祉法人数 × 100) (2)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 低所得者の介護保険サービスの利用者負担を軽減し、利用を促進することにより基盤整備を充実する。										
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
				計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)	所				0	7			
	活動指標(2)									
	成果指標(1)	%				0	100			
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円			25,714	0	5,009			
	職員数(正規   非常勤)	人			0.20	0.05	0.20	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	1,815	454	1,815		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	0	0	27,529	454	6,824			
	単位あたりコスト ÷	円					974,800			
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都からの支出金	千円			19,224		3,750		
		その他特定財源	千円							
		特定財源計 + +	千円	0	0	19,224	0	3,750		
差引:一般財源 -	千円	0	0	8,305	454	3,074				
受益者負担比率 ÷	%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	区内の社会福祉法人数 7所 平成12年 ねたきり等高齢者数 4,097人 ひとりぐらし高齢者数 9,449人								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)									
	今後の予測	平成17年には、ねたきり等高齢者4,124人、ひとりぐらし高齢者11,640人と推測されている。 平成13年度の事業実施に向けて、東京都において、助成に伴う事務処理の簡素化の準備がすすめられているため、減免措置を実施する法人が出てくると予想できる。								



# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		通所介護（高齢者在宅サービスセンター運営）			整理番号	237		細番号		
所属部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091404		連絡先電話番号	1124		
係名		介護施設係		上位施策名				NO		
予算事業名		通所介護		コード	25780		介護保険サービスの基盤整備			
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		59年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 介護保険法		
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		介護保険の要支援・要介護認定を受けた方		(2)		
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）			要介護者等に入浴、排泄、食事等の介護その他日常生活上の世話及び機能訓練を行う。		活動指標名(式)		(3)		
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）			介護家族等の身体的・精神的負担の軽減や家庭生活の安定及び要介護者の良好な生活環境を確保する		成果指標名(式)		(1) 延利用人員		
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか			高齢者がより豊かに、より自立した生活が送れるようにする。				(2) 施設数			
							(1) 稼働率 延利用人員 ÷ (年間開所日数 × 1日定員) × 100			
							(2)			
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
				計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)	人	40699	45085	149355	88918	169940			
	活動指標(2)	所	12	16	17	17	17			
	成果指標(1)	%	79	85	100	59.5	100			
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	459,262	502,999	1,029,520	1,024,796	1,139,959			
	職員数(正規   非常勤)	人	2.38	2.90	2.90	2.30	2.40	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	21,594	26,312	26,312	20,868	21,775		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	480,856	529,311	1,055,832	1,045,664	1,161,734			
	単位あたりコスト ÷	円	11,815	11,740	7,069	11,760	6,836			
	財源	受益者負担分	千円			102,952	56,267	113,995		
		国・都からの支出金	千円	269,230	276,174					
		その他特定財源	千円			694,926	440,534	1,001,114		
		特定財源計 + +	千円	269,230	276,174	797,878	496,801	1,115,109		
差引: 一般財源 -	千円	211,626	253,137	257,954	548,863	46,625				
受益者負担比率 ÷	%			9.8	5.4	9.8				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	12年4月、民設民営に事業委託をしていた2所については委託を廃止するとともに4所(学校余裕教室を活用したデイサービスセンター3所を含む)新設し事業開始した。合わせて、12年9月1所、13年2月1所、13年3月1所の計3所新設し事業開始した。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	待機者が解消され、今後はサービスの質の向上が求められている。								
	今後の予測	3年から5年後を目途に介護報酬による社会福祉法人等の自主運営に移行する。								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		短期入所生活介護（特別養護老人ホーム）				整理番号	238		細番号		
所属部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091404		連絡先電話番号	1124		昨年度整理番号	
係名		介護施設係			上位施策名				NO		
予算事業名		短期入所生活介護		コード	25780		介護保険サービスの基盤整備			32	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		53年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 介護保険法				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		介護保険の要支援・要介護認定を受けた方		(2) 杉並区立特別養護老人ホーム条例				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		入所者に入浴、排泄、食事等の介護その他日常生活上の世話及び機能訓練を行う。				(3)				
	活動指標名(式)						(1) 延利用日数				
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		必要な介護を行なうことにより、その有する能力に応じ自立した日常生活が営めるようにする。				成果指標名(式)					
		意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 高齢者がより豊かに、より自立した生活が送れるようにする。				(1) 介護家族等が介護から開放された時間 {延利用日数 - 延べ利用人員(*1回の利用日数から1日を減じる)} × 24時間					
						(2) *ショートステイを利用する際、家族等が入所時・退所時送迎するため、それぞれ半日づつ(合せて1日)利用日数から減ず					
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%		
				計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)	日	6194	6705	4380	3740	4380				
	活動指標(2)	人	929	773		693					
	成果指標(1)	時間	126360	142368		73128					
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	92,919	92,852	47,424	47,424	54,545			
	職員数(正規   非常勤)		人	0.30	0.30	0.50	0.50	0.50	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,722	2,722	4,537	4,537	4,537			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	95,641	95,574	51,961	51,961	59,082			
	単位あたりコスト ÷		円	15,441	14,254	11,863	13,893	13,489			
	財源	受益者負担分		千円			4,742	3,570		5,454	
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円	41,436	48,832	32,011	27,080		47,488	
		特定財源計 + +		千円	41,436	48,832	36,753	30,650		52,942	
差引:一般財源 -		千円	54,205	46,742	15,208	21,311	6,140				
受益者負担比率 ÷		%			9.1	6.9	9.2				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		高齢者人口 要介護高齢者数 昭和59年 52,189人 2,296人 平成13年 86,050人 3,872人								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		ショートステイへの需要は高く、区内ショートステイ施設の増設を求める声がある。また、緊急時のショートステイについての要望がある。								
	今後の予測		平成17年 高齢者人口 91,651人 要介護高齢者数 4,124人								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）				整理番号	239		細番号		
所属部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091404		連絡先電話番号	1124			
係名		介護施設係		上位施策名				NO			
予算事業名		介護老人福祉施設		コード	25790		介護保険サービスの基盤整備		32		
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		9 年度		根拠法令等				
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		介護保険の要介護認定を受けた方		(1) 老人福祉法 (2) 介護保険法 (3) 杉並区立特別養護老人ホーム条例				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		入所者に入浴、排泄、食事等の介護その他日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行う。				活動指標名(式)				
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）		入所者がその有する能力に応じ自立した生活を営むことができるようにする。				成果指標名(式)				
		意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 高齢者がより豊かに、より自立した生活が送れるようにする。				(1) 稼働率 延利用人員(延利用日数) ÷ 延利用予定人員(365日 × 75床) × 100 (2)					
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		人	25536	27375	25847	27375				
	活動指標(2)		人	75	70	75	71	75			
	成果指標(1)		%		93	100	94	100			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	359,181	387,216	312,807	312,807	300,442			
	職員数(正規   非常勤)		人	1.50	1.50	1.00	1.00	1.00	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	13,610	13,610	9,073	9,073	9,073			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	372,791	400,826	321,880	321,880	309,515			
	単位あたりコスト ÷		円		15,696	11,758	12,453	11,306			
	財源	受益者負担分		千円	96	89	34,739	25,223	31,960		
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円			208,550	201,734	270,878		
		特定財源計 + +		千円	96	89	243,289	226,957	302,838		
差引:一般財源 -		千円	372,695	400,737	78,591	94,923	6,677				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	10.8	7.8	10.3				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		高齢者人口 昭和59年 52,189人 平成13年 86,050人 要介護高齢者数 昭和59年 2,296人 平成13年 3,872人								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		入所施設の増設が求められている。								
	今後の予測		平成17年 高齢者人口 91,651人 要介護高齢者数 4,124人								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者いきいき・はつらつ事業			整理番号	302		細番号		
所属部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091401		連絡先電話番号	1126		
係名		事業支援主査			上位施策名			NO		
予算事業名		高齢者活動支援センター		コード	30400		高年齢者の社会参加と交流の拡大			
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		11年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 老人福祉法第4条,5条の3			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 老人福祉法第20条の7					
	対象		60歳以上の元気な高齢者及び区内の主要な高齢者団体							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		高齢者団体による地域活動プラン策定検討会開催 (老人クラブ連合会3回、杉の樹大学OB連合会7回) 社会活動参加セミナー開催4回 地域活動のリーダー育成 (指導者研修4回開催)							
活動指標名 (式)		(1) 社会活動参加セミナー及びリーダー養成研修参加者 (2) 各種高齢者団体による検討会の開催								
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		高齢者が健康で生きがいのある充実した生活が送れるよう、高齢者団体の活動の活性化を図り、高齢者の社会参加を促進する。								
成果指標名 (式)		(1) 社会活動参加セミナー及びリーダー養成研修への出席率 (2) 検討会への出席率								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 高齢者の生きがいづくりを促進することにより、高齢者の自立の拡大を図り、健康で豊かな高齢社会を実現できる。										

区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
				計画	実績		年度	年度				
指標	活動指標(1)	人			80	56	70					
	活動指標(2)	回			12	10	10					
	成果指標(1)	%			100.0	72.5	100.0					
	成果指標(2)	%			100.0	71.5	100.0					
総事業費・コスト把握	事業費	千円		204	378	322	492					
	職員数 (正規   非常勤)	人		1.13   0.00	1.00   0.00	1.23   0.00	0.60   0.00	特記事項 ・事務事業名について、12年度までは、いきがい活動支援事業一本で実施。13年度から、いきいき・はつらつ事業と高齢者人材バンクに分けた。				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	10,252	9,073	11,160			5,444		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			0		
	総事業費 ++		千円	0	10,456	9,451	11,482			5,936		
	単位あたりコスト ÷		円			118,138	205,032			84,797		
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都からの支出金	千円							369		
		その他特定財源	千円									
		特定財源計 ++	千円	0	0	0	0			369		
差引:一般財源 -		千円	0	10,456	9,451	11,482	5,567					
受益者負担比率 ÷		%										

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	高齢者人口の増大、老人クラブの組織率の低下、要介護高齢者の増加。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	社会参加の必要性を認識し、地域での社会貢献活動等に取り組んでいくための方策について、情報を得たいとの要望がある。
	今後の予測	介護保険の対象とならない元気な高齢者が増大し、その社会参加、生きがいづくりの対策を図った結果が要支援及び要介護高齢者の出現率に影響を及ぼす。

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者人材バンク		整理番号	303	細番号	
所属部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091401	連絡先電話番号	1126
				昨年度整理番号			
係名 事業支援主査				上位施策名			NO
予算事業名 高齢者活動支援センター				コード	30400	高齢者の社会参加と交流の拡大	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12年度			根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度			(1) 老人福祉法第4条, 5条の3			
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 60歳以上の元気な高齢者、区内の主要な高齢者団体及び地域の自主グループ			(2) 老人福祉法第20条の7			
				(3)			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) サラリーマンOBなど、豊かな経験、知識、技術を持つ高齢者と人材を必要とする団体等(NPO、学校、社会福祉法人)とを結びつける仕組みとしての高齢者人材バンク設置検討会			活動指標名(式) (1) 人材バンク設置に向けた検討会の開催 (2)			
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 知識、経験、技術等を持った高齢者に、その能力を必要としている地域の各種団体等で活躍してもらうことにより、生きがいを見出し、地域社会の担い手として地域づくりに参加してもらう。			成果指標名(式) (1) 検討会への出席率 (2)			
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 高齢者の能力と活動の場を結びつけることにより、地域社会の活性化と、高齢者の社会参加と交流の拡大を図ることができる。							

区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
				計画	実績		年度	年度				
指標	活動指標(1)	回			3	4						
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	%			100.0	90.0						
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円			117	110	358					
	職員数(正規・非常勤)	人			0.20	0.00	0.20	0.00	0.80	0.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	1,815	1,815	7,258	特記事項 平成12年度事業開始			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++	千円	0	0	1,932	1,925	7,616					
	単位あたりコスト ÷	円			643,867	481,150						
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都からの支出金	千円			58	58	179				
		その他特定財源	千円									
		特定財源計 ++	千円	0	0	58	58	179				
差引:一般財源 -		千円	0	0	1,874	1,867	7,437					
受益者負担比率 ÷	%											

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	都や他区でも人材バンクと同じ趣きの事業を始めており、今後さらに増加する傾向にある。 60歳以上の高齢者:平成8年 103千人 平成13年 113千人
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	各人の保有する特技や資格を、地域の中で生かしたいと希望し、人材バンク登録への申し込みが多く寄せられている。
	今後の予測	元気で、経験、知識、能力を有する高齢者の社会参加を、いかに進めるかが今後の地域社会の活性化を大きく左右する。 60歳以上の人口推計:平成17年 119千人



# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		授産場維持管理・運営委託				整理番号	343		細番号		
所属部課名		保健福祉部 高齢者施策課		コード	091401	連絡先電話番号	1122		昨年度整理番号	347	
係名				管理係		上位施策名				NO	
予算事業名		方南みのり工房・清水みのり工房		コード	32600・32800		高齢者の社会参加と交流の拡大			30	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		55 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期		<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有		平成 12 年度		(1) 杉並区立授産場条例 (2) 杉並区立授産場条例施行規則 (3) 杉並区立授産場管理要綱				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 高齢者、低所得者								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）						活動指標名(式)				
	授産場の施設の維持及び運営を行う。						(1) 維持管理対象面積 (2) 運営委託施設数				
意図（対象をどのような状態にしたいのか）						成果指標名(式)					
利用しやすい施設維持運営を行い、より多くの人に利用してもらう。						(1) 年間経費 ÷ 利用実人員 (2)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか より多くの人に利用してもらうことで、就業機会の拡大と社会参加の促進をする。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		m <sup>2</sup>	985	985	985	985				
	活動指標(2)		所	2	2	2	2				
	成果指標(1)		円	563,125	717,722	381,436	355,226				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	63,070	74,643	41,958	40,851				
	職員数(正規   非常勤)		人	0.40	0.43	0.45	0.45		特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	3,629	3,901	4,083	4,083	0			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	66,699	78,544	46,041	44,934	0			
	単位あたりコスト ÷		円	67,715	79,740	46,742	45,618				
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円	8,676	7,286	7,445	7,667			
		特定財源計 + +		千円	8,676	7,286	7,445	7,667	0		
差引:一般財源 -		千円	58,023	71,258	38,596	37,267	0				
受益者負担比率 ÷		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		対象面積 昭和55年(410m <sup>2</sup> )平成4年~(985m <sup>2</sup> ) 対象施設 昭和55年(1所)平成4年~(2所) 平成12年度、授産場を廃止し、13年度からシルバー人材センターの事業とした。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		利用者が限られている。								
	今後の予測		経済の停滞による受注確保の環境悪化								



# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		授産作業				整理番号	344		細番号						
所属部課名		保健福祉部 高齢者施策課		コード	091401		連絡先電話番号	1122		昨年度整理番号	348				
係名				管理係				上位施策名			NO				
予算事業名				方南みのり工房・清水みのり工房				コード	32600・32800		高齢者の社会参加と交流の拡大			30	
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		55 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期				<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有		平成 12 年度		(1) 杉並区立授産場条例						
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		高齢者、低所得者等		(2) 杉並区立授産場条例施行規則						
									(3) 杉並区立授産場管理要綱						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				高齢者、低所得者等が授産場で作業することによって収入を得て、生活の安定と生きがいに寄与する。				活動指標名(式)				(1) 受注延業者数		
												(2) 利用実人員			
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				利用しやすい施設運営を行い、より多くの人に利用してもらう。				成果指標名(式)				(1) 年間工賃÷利用延人員			
												(2)			
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												より多くの人に利用してもらうことで、就業機会の拡大と社会参加の促進をする。			

  

区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
				計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)	社	1,555	1,757	1,314	1,684				
	活動指標(2)	人	112	104	110	115				
	成果指標(1)	円	29,923	32,799	31,445	37,649				
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	41,635	40,966	41,508	41,565				
	職員数(正規 非常勤)	人	0.40	0.43	0.45	0.45			特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	3,629	3,901	4,083	4,083	0		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++	千円	45,264	44,867	45,591	45,648	0			
	単位あたりコスト ÷	円	29,109	25,536	34,696	27,107				
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都からの支出金	千円							
		その他特定財源	千円	39,981	40,966	41,508	41,565			
		特定財源計 ++	千円	39,981	40,966	41,508	41,565	0		
差引:一般財源 -		千円	5,283	3,901	4,083	4,083	0			
受益者負担比率 ÷	%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	年間工賃 昭和55年(20,970千円) 平成4年(19,782千円) 平成12年(41,565千円) 利用実人員 昭和55年(64人) 平成4年(72人) 平成12年(115人)平成12年度、授産場を廃止し、13年度からシルバー人材センターの事業とした。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	発注業者が限られている。								
	今後の予測	経済の停滞による受注確保の環境悪化								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		介護保険運営協議会				整理番号	1016		細番号			
所属部課名 保健福祉部高齢者施策課		コード	91401		連絡先電話番号	1122		昨年度整理番号				
係名 管理係		上位施策名				NO						
予算事業名 一般事務		コード	91505		介護保険サービスの基盤整備		32					
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 介護保険法第117条							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		杉並区（介護保険事業計画等）		(2) 杉並区介護保険条例、同施行規則							
					(3) 杉並区介護保険運営協議会運営要綱							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		介護保険事業に関して次の事項を調査審議・区に必要な提言を行う。 杉並区介護保険事業計画に関すること。 介護保険事業に係る相談苦情事例の対応及び改善策に関すること。 その他介護保険事業に関連する区の保健福祉事業に関すること。		活動指標名(式)							
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）		区介護保険事業計画、保健福祉施策を区民の意見を踏まえたものとする。		成果指標名(式)							
		意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 介護保険事業の適正な運営に役立っている。		(1) 委員出席率								
				(2)								
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
				計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)	回			6	6	6					
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	%			100	84.85	100					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円			2,234	1,704	3,019					
	職員数(正規   非常勤)	人			0.60	0.60	0.60	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	5,444	5,444			5,444		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			0		
	総事業費 + +	千円	0	0	7,678	7,148	8,463					
	単位あたりコスト ÷	円			1,279,633	1,191,300	1,410,467					
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都からの支出金	千円									
		その他特定財源	千円			2,234	1,704			3,019		
		特定財源計 + +	千円	0	0	2,234	1,704			3,019		
差引:一般財源 -	千円	0	0	5,444	5,444	5,444						
受益者負担比率 ÷	%											
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	平成12年 ねたきり等高齢者 4,097人 ひとりぐらし高齢者 9,449人 平成12年度介護保険制度の開始、高齢者いきいき事業(都の補助事業)、介護予防・生活支援事業(国の補助事業)の開始										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)											
	今後の予測	平成17年度には、区の高齢者人口が総人口の17.9%になると推計されている。 また、ねたきり高齢者等は4,124人、ひとりぐらし高齢者は11,640人と推計されている。 今後、介護保険事業計画の改定など、今まで以上に運営協議会の役割は重要になり、部会等の設置も考えられる。										

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		介護保険相談				整理番号	1017		細番号		
所属部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091401	連絡先電話番号	1127		昨年度整理番号		
係名		介護保険相談調整主査			上位施策名				NO		
予算事業名		介護保険相談		コード	91505	介護保険サービスの基盤整備			32		
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 介護保険法 (2) 厚生省令第37号・38条・39条・40条・41条 (3) 介護保険条例第3条				
	対象被保険者		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		被保険者より介護保険サービスに関する苦情や制度に対する要望を受け、解決に向けて調整する。事業者のサービスに改善が必要な場合は、事業者指導を行う。			活動指標名(式) (1) 苦情件数 (2) 指導・助言件数(事業者に向けて)					
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）		相談・要望へ適切な対応を行い、サービスを確保し利用者保護を図る。			成果指標名(式) (1) 苦情が解決した割合 (2) 改善がなされた件数(事業者に向けて)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 苦情・要望の解決により、良質なサービスの確保へ結び付け介護保険サービスの基盤整備に貢献する。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		件				253				
	活動指標(2)		件				105				
	成果指標(1)		%				67.6				
	成果指標(2)		件				104				
総事業費・コスト把握	事業費		千円			386	225	386			
	職員数(正規   非常勤)		人			4.00	4.00	4.00	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	36,292	36,292	36,292			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	0	0	36,678	36,517	36,678			
	単位あたりコスト ÷		円				144,336				
	財源	受益者負担分		千円			0	0	0		
		国・都からの支出金		千円			0	0	0		
		その他特定財源		千円			386	225	386		
		特定財源計 ++		千円	0	0	386	225	386		
差引:一般財源 -		千円	0	0	36,292	36,292	36,292				
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成12年の65歳以上の高齢者85,253人の内、要介護認定者が8,544人、平成13年は高齢者87,599人に対し要介護認定者は9,766人であり、高齢者人口、要介護認定者ともに増加している。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		苦情や要望を整理し、サービス改善や制度改善に結びつけて欲しい。								
	今後の予測		相談件数は、急激な増減がないと思われるが、利用者の権利意識の強まりとともに変化していく苦情に対する的確な処理が求められる。								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		介護支援専門員の養成				整理番号	185		細番号			
所属部課名		保健福祉部高齢者在宅サービス課		コード	91704	連絡先電話番号	1176		昨年度整理番号	231		
係名					在宅支援係				上位施策名	NO		
予算事業名					在宅福祉の推進				コード	20400		
					介護保険サービスの基盤整備					32		
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		10年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期				○無 ●有		平成 12年度		(1) 介護保険法			
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準					
	介護支援専門員を希望する区職員				介護支援専門員として区内の居宅介護支援事業所への勤務予定者				(3)			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名(式)							
・介護保険制度の重要な役割を担う介護支援専門員の資格取得支援 ・介護支援専門員実務研修受講試験を受験するための事前講習会 ・有資格者に対する研修や情報提供				(1) 区職員の介護支援専門員試験受験者数								
				(2)								
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名(式)								
有資格者の資格取得を促し、訪問調査やケアプラン作成に必要な介護支援専門員を確保する。				(1) 杉並区で勤務している介護支援専門員合格者のうち区職員の占める割合								
				(2)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												
介護保険認定調査やケアプラン作成を担う介護支援専門員を確保することにより、介護保険サービスの提供が迅速・的確に提供できるようにする。また、区職員の介護支援専門員を養成することにより、「介護支援専門員支援体制」を整備する。												
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度計画		目標値	目標値に対する12年度の達成率%
							計画	実績			年度	
指標	活動指標(1)		人	93	25	30	18					
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		%	31.8	12		13.4					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,256	844	762	431	0				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.50		0.57		0.05		0.05	0.00	特記事項 平成12年度介護保険制度の実施に向け、10・11年度は区職員以外に対しても介護支援専門員の養成講習会等開催していたので、その経費が含まれている。
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	4,537	5,172	454	454	0				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	5,793	6,016	1,216	885	0				
	単位あたりコスト ÷		円	62,285	240,624	40,522	49,147					
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都からの支出金		千円								
		その他特定財源		千円								
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	5,793	6,016	1,216	885	0					
受益者負担比率 ÷		%										
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成10年度から、介護支援専門員実務研修試験は、都道府県が年1回実施している。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		介護支援専門員の質の向上に努めて欲しい									
	今後の予測		今後は研修・情報提供など介護支援専門員に対する支援を行っていくことで、介護支援専門員の質の向上を図っていく。									

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ケアマネジャー研修				整理番号	195		細番号	
所属部課名		保健福祉部高齢者在宅サービス課		コード	91704		連絡先電話番号	1176		
係名		在宅支援係				上位施策名	NO			
予算事業名		高齢者福祉施策の計画策定		コード	21700		介護保険サービスの基盤整備	32		
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 老人福祉法 (2) 杉並区在宅介護支援センター運営事業実施要綱 (3)			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		介護支援専門員					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		介護支援専門員を対象に研修の開催及び情報(ケアマネ通信)の提供				活動指標名(式)			
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		介護支援専門員の質の向上を図る。				成果指標名(式)			
						(1) 研修に参加した居宅介護支援事業所数 (2) ケアマネ通信発行回数				
						(1) 研修に参加した居宅介護支援事業者数 ÷ 杉並区を事業対象区域にしている事業者 (2)				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 介護保険サービス希望者に的確なケアプランが作成できるよう介護支援専門員を支援する。										
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
				計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)	所			600	249	690			
	活動指標(2)	回			7	7	7			
	成果指標(1)	%			100	41.5	100			
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円			339	184	186			
	職員数(正規   非常勤)	人			0.30	0.30	0.30	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	2,722	2,722	2,722		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	0	0	3,061	2,906	2,908			
	単位あたりコスト ÷	円			5,102	11,670	4,214			
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都からの支出金	千円				102	139		
		その他特定財源	千円							
		特定財源計 + +	千円	0	0	0	102	139		
差引:一般財源 -	千円	0	0	3,061	2,804	2,769				
受益者負担比率 ÷	%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	当初は介護保険制度が発足したばかりで、区からの情報提供に終始していたが、今年度から各地域(福祉事務所)毎に事例検討会を開催している。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	希望するサービスが受けられない。 良いケアマネジャーが見つからない。								
	今後の予測	介護支援専門員が、いかに利用者信頼関係を築き質の高いケアプランを作れるかが問われていく。								



# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		老人保健医療等事務		整理番号	197	細番号		
所属部課名		保健福祉部高齢者在宅サービス課		コード	91707	連絡先電話番号	1133	
				昨年年度整理番号		185		
係名		高齢者医療係		上位施策名			NO	
予算事業名		老人保健医療等事務		生涯を通じた健康づくりの支援			23	
コード		21800		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		58年度			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 老人保健法			
	マル老 = 健康保険加入者で70歳以上の者及び65歳以上の障害認定者 マル福 = 健康保険加入者(社保本人除く)で65~69歳の者(所得制限有)					(2) 老人の医療費の助成に関する条例・規則		
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)					(3)		
対象者に医療受給者証を交付する。 老人保健制度を実施するための各種手数料・事務費を支出する。					活動指標名(式)			
意図(対象をどのような状態にしたいのか)					成果指標名(式)			
対象者に対し円滑に医療証を発行することにより、安心して医療を受けることができる。					(1) 65歳以上の住民登録者数(各年度4月1日現在)			
					(2)			
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか								
高齢者が安心して医療を受けることができることにより、健康づくりに役立っている。								

区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
				計画	実績		年度	年度				
指標	活動指標(1)	人	79,610	81,718	83,956	83,956	86,391					
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	人	72,076	74,480	75,700	74,113	74,110					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	498,841	533,451	460,428	443,799	378,323					
	職員数(正規   非常勤)	人	6.50	6.50	6.50	6.50	6.50	特記事項 老人保健医療費は特別会計であり、その事務的経費のみ一般会計となっている。				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	58,975	58,975	58,975	58,975			58,975		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			0		
	総事業費 + +	千円	557,816	592,426	519,403	502,774	437,298					
	単位あたりコスト ÷	円	7,007	7,250	6,187	5,989	5,062					
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都からの支出金	千円	14,782	18,495	13,826	15,294			13,502		
		その他特定財源	千円									
		特定財源計 + +	千円	14,782	18,495	13,826	15,294			13,502		
差引: 一般財源 -		千円	543,034	573,931	505,577	487,480	423,796					
受益者負担比率 ÷	%											

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	高齢化の進行、医療コストの上昇等から、国の高齢者の医療費は毎年8%も伸びるような状況である。法改正も平成13年1月の改正が15回目となっており、これに伴う事務量も増加し煩雑になっている。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	老人医療費の自己負担が増加傾向にあることに対し不満がある一方で、老人医療制度の維持のためには、高齢者も応分の負担をすべきであるという意見もある。
	今後の予測	増え続ける高齢者の医療費についてどう対応するのか、抜本的な改革が求められている。平成14年度には、老人医療制度の改革が予定されている。マル福制度については、平成12年度から制度の見直しを実施され、平成19年7月に廃止される。経過措置があるため当面の事務量の変化は少ないが、平成16年7月に年齢到達者への医療証交付事務が終了した後は、事務量の減が予想される。



# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		シルバーパス発行				整理番号	203		細番号	
所属部課名		保健福祉部高齢者在宅サービス課		コード	91701	連絡先電話番号	1173		昨年度整理番号	191
係名 事業係					上位施策名				NO	
予算事業名 シルバーパス発行					コード	22600		高齢者の社会参加と交流の拡大		30
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 49 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 12 年度				(1) 東京都シルバーパス交付条例					
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 老人福祉手当受給者及び特別養護老人ホーム入所者を除く区内在住の70歳以上の高齢者				(2)					
					(3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 対象者にシルバーパスの希望調査をした上で、希望すると回答のあった者の所得を確認し、無料該当者には郵送でパスを交付し、有料該当者には通知を出し、希望者には窓口でパスを交付する。				活動指標名(式) (1) シルバーパス交付希望対象者 (2)					
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 高齢者の積極的な社会参加の促進を行うことにより、生き生きとした生活を送ってもらおう。				成果指標名(式) (1) 70歳以上の高齢者に対する発行枚数の割合 (2)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 高齢者がシルバーパスを有効活用することで、活動範囲が広がり、積極的な社会参加ができるいきいきとしたまちをつくる。										
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%
					計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		人	38,596	40,505	58165	51466			
	活動指標(2)									
	成果指標(1)		%	72	73	61	54			
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	9,354	10,805	11,195	9,584			
	職員数(正規   非常勤)		人	1.00	1.50	0.50	0.50			特記事項 東京都シルバーパス条例の大幅な改正により、平成12年10月1日から有効のパスについて、全員が有料となり、バス事業者がパスの交付を行うこととなる。
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	9,073	13,610	4,537	4,537	0	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	
	総事業費 + +		千円	18,427	24,415	15,732	14,121	0		
	単位あたりコスト ÷		円	477	603	270	274			
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都からの支出金		千円	17,302	17,089	19,352	17,917		
		その他特定財源		千円						
		特定財源計 + +		千円	17,302	17,089	19,352	17,917	0	
差引: 一般財源 -		千円	1,125	7,326	-3,621	-3,797	0			
受益者負担比率 ÷		%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		開始当初と比較し高齢者が急増したため、東京都の財政負担が増加し、利用と負担の適正化などで見直しを行うこととなった。							
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		シルバーパスはよい制度なのでなくさないで欲しい。有料該当者に限り、区や出張所の窓口で交付を受けに行くのはおかしい。							
	今後の予測		12年10月1日から有効のシルバーパス対象者全員が有料になることや、シルバーパスの交付場所も区の窓口からバス会社へと変わること、日頃バスを利用しない者への交付抑制が予想される。							

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		家族介護教室			整理番号	207		細番号				
所属部課名		保健福祉部高齢者在宅サービス課		コード	91701		連絡先電話番号	1173				
係名		事業係		上位施策名				NO				
予算事業名		高齢者在宅サービスセンター運営		コード	23200		高年齢者の地域社会での介護予防と自立支援					
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		63 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 老人福祉法					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		要介護者等を介護している家族や近隣の援助者		(2) 東京都介護予防・生活支援事業実施要綱					
	活動内容		(事務事業の内容、やり方、手順)		月2回程度、1回20人程度、介護に関する知識や技術等の研修を行う。		(3) 杉並区立高齢者在宅サービスセンター条例					
	活動指標名(式)				(1) 延受講者数		(2) 延実施回数					
意図		(対象をどのような状態にしたいのか)		研修を行うことにより、介護者の身体的・精神的負担の軽減やその家族に対する援助者の育成及び高齢者在宅サービスセンター運営に対する支援、理解を深める。		成果指標名(式)						
						(1) 延受講者数 / 延募集人員						
						(2)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		家族等が介護の知識・技術を身につけることにより施策に貢献している。										
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
				計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)	人	3486	2882	5560	1330	5760					
	活動指標(2)	回	361	275	278	103	288					
	成果指標(1)	%	60.5	50.0	100.0	23.1	100					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円			3,892	3,892	4,032					
	職員数(正規   非常勤)	人			0.20	0.20	0.10	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	1,815	1,815	907	10・11年度まで家族介護教室は、高齢者在宅サービスセンター事業の基本事業の一環としてサービスを提供していたため、補助金、委託料いずれも家族介護教室のみを取り上げて経費を算出することはできない。よって、事業費、都支出金、職員数について、12年度より数値を記載する。			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +	千円	0	0	5,707	5,707	4,939					
	単位あたりコスト ÷	円	0	0	1,026	4,291	858					
	財源	受益者負担分	千円			0	0	0				
		国・都からの支出金	千円	0	0	2,919	2,919	3,024				
		その他特定財源	千円									
		特定財源計 + +	千円	0	0	2,919	2,919	3,024				
差引:一般財源 -	千円	0	0	2,788	2,788	1,915						
受益者負担比率 ÷	%			0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	平成11年度までは、高齢者在宅サービスセンターの基本事業の一環として介護家族を対象に家族介護者教室を開催してきた。平成12年度からは、基本事業が介護保険下での通所介護となり、家族介護者教室は単独事業として、介護家族を対象としたものから広く地域住民を対象とし、要介護者を抱える家族の援助者又は、高齢者在宅サービスセンター事業の援助者の育成を意図に「家族介護教室」と事業名を変え社会福祉資源の活用の仕方と活用の場がほしい。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)											
	今後の予測	要介護者の増加に伴い介護者の受講希望者も増加する。										

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		配食サービス				整理番号	209		細番号			
所属部課名		保健福祉部高齢者在宅サービス課		コード	91701	連絡先電話番号	1173		昨年度整理番号	197		
係名 事業係				上位施策名				NO				
予算事業名				高齢者在宅サービスセンター等		コード	23200		高齢者の地域社会での介護予防と自立支援	31		
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		63年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期				●無 ○有		平成		年度		(1) 老人福祉法 (2) 東京都介護予防・生活支援事業実施要綱 (3) 杉並区高齢者在宅サービスセンター条例	
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		65歳以上の虚弱高齢者等で調理や買い物に困難な者					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				虚弱高齢者に高齢者在宅サービスセンターで調理した夕食を居宅まで配送し、安否の確認をする。				活動指標名(式)		(1) 延配食数  (2)	
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）				虚弱高齢者の栄養状態を改善し、自立した生活が送れるようになる。				成果指標名(式)		(1) 延配食数 / 年間配食可能数  (2)	
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 要介護状態になるのを防ぎ、より自立した生活が送れるようになる。												
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%			
					計画	実績		15年度				
指標	活動指標(1)		食	55965	60254	220400	118247	234400	249900	47.3		
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		%	60.0	64.0	100.0	50.3	100	100			
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	241,431	248,740	222,614	222,614	230,004				
	職員数(正規   非常勤)		人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.25	特記事項			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	4,537	4,537	4,537	4,537	2,268				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	245,968	253,277	227,151	227,151	232,272				
	単位あたりコスト ÷		円	4,395	4,203	1,031	1,921	991				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都からの支出金		千円	7,524	11,537	7,889	166,961	8,151			
		その他特定財源		千円								
		特定財源計 ++		千円	7,524	11,537	7,889	166,961	8,151			
差引:一般財源 -		千円	238,444	241,740	219,262	60,190	224,121					
受益者負担比率 ÷		%										
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成12年度からは1日の配食数を320食から800食に増食し、利用上限を週3回とした。又、利用対象者を日中独居者や対象高齢者と同居の身体障害者、知的障害者、精神障害者にも配食することとした。本来なら対象者とならない者について、家族の急病や入院等の緊急時にはその期間対応することとした。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		決められた日時ではなく、欲しいと思った時に配食してほしい。試食の機会をもうけてほしい。									
	今後の予測		必要な時に必要な食形態のものを必要な食数必要な人と考えると高齢者在宅サービスセンターでの調理・配食では対応が難しい。現状の提供方法の中での対象条件の拡大を行うのか、更なる対象条件の拡大を行うにあたっての提供方法の変更を考えるのか方針を決める必要がある。									

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		在宅介護支援センター（ケア24）の運営				整理番号	210		細番号		
所属部課名		保健福祉部高齢者在宅サービス課		コード	91704	連絡先電話番号	1179		昨年度整理番号	202	
係名 在宅支援係					上位施策名				NO		
予算事業名 在宅介護支援センター運営					コード	23310		高齢者の地域社会での介護予防と自立支援		31	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 6年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 老人福祉法						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 おおむね65歳以上の要援護高齢者及び要援護となるおそれのある高齢者並びにその家族等。				(2) 杉並区立在宅介護支援センター条例						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 在宅介護に関する総合的な相談、助言。保健・福祉サービスの申請受付、連絡調整。介護保険に関する相談、申請受付、調査。介護予防・生活支援サービスの相談、申請受付、調査、自立支援会議の開催。地域の要援護高齢者等及びその家族等の実態把握、介護ニーズの評価。在宅介護支援センター運営委託事業者の選定等。				(3) 都在宅介護支援センター補助要綱						
	意図（対象をどのような状態にしたいのか） 在宅の要援護高齢者等及びその家族等に対し、介護等に関する総合的な相談、助言、調整を行うことにより、そのニーズに対応した各種保健福祉サービス（介護保険を含む）が総合的及び効果的に受けられるようにする。				活動指標名(式) (1) 相談件数 (2) 申請受付件数(含、申請代行件数)						
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 高齢者の要援護状態の改善・悪化防止、介護者の負担軽減、また高齢者が要援護状態になることを防止することにより、高齢者ができるだけ長く、住み慣れた地域で、自立した生活を続けられるようにする。				成果指標名(式) (1) 相談受付者の内、各種サービスを利用した件数 (2)						
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		件	16148	22501	22800	26063	40000			
	活動指標(2)		件	1428	1455		5215				
	成果指標(1)		件	1256	1353		511				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	123,478	172,702	127,495	118,666	141,305			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.40	0.90	1.95	3.32	3.60	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	3,629	8,166	17,692	30,122	32,663		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	127,107	180,868	145,187	148,788	173,968			
	単位あたりコスト ÷		円	7,871	8,038	6,368	5,709	4,349			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0		
		国・都からの支出金		千円	78,761	108,232	53,243	61,768	107,334		
		その他特定財源		千円			194	194	315		
		特定財源計 ++		千円	78,761	108,232	53,437	61,962	107,649		
差引:一般財源 -		千円	48,346	72,636	91,750	86,826	66,319				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成6年度に開設した2所から、13年4月には区役所と3福祉事務所に基幹型支援センターを設置し、13年度中に地域型支援センターを3所増設を計画している。高齢者の介護に関する相談を在宅介護支援センターで受けた件数は、平成6年度は1,848件だったが、12年度には26,063件あった。また、平成12年度の介護保険制度開始に伴い、要介護認定の申請、調査を新たに支援センターに委託した。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)										
	今後の予測		高齢者に関する相談はさらに多様化していくと思われ、高齢社会の複合的な問題に対応するため、在宅介護支援センターの整備が必要である。杉並区実施計画では、平成17年度までに、杉並区全体で地域型在宅介護支援センターを21所整備することとなっている。								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者理美容サービス				整理番号	211		細番号			
所属部課名		保健福祉部高齢者在宅サービス課		コード	91701	連絡先電話番号	1173		昨年度整理番号	204		
係名 事業係				上位施策名					NO			
予算事業名				理髪サービス等		コード	23400		高齢者の地域社会での介護予防と自立支援		31	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 53 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 杉並区高齢者訪問理美容サービス事業要綱							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 40歳以上の在宅高齢者等で、介護保険の要支援・要介護認定を受けている人、または、理美容店に行くことが困難な65歳以上の人				(2) 東京都介護予防・生活支援事業実施要綱							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 区が理容環境衛生同業組合、美容環境衛生衛生組合に実施を委託。区は理美容券を交付する。実施回数はおおむね3ヶ月に1回で年4回まで。費用負担あり。				(3)							
	活動指標名(式)				(1) 理髪サービス利用券交付延べ人数							
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 居宅において臥床している高齢者等に、生きがいの助長及び清潔を保持する。				(2) 理髪サービス利用者数								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 外出困難な高齢者の身だしなみ・清潔の保持において効果があり、「自立した質の高い生活」の実現を図ることができる。				成果指標名(式)								
				(1) 理髪サービス利用者数 ÷ 寝たきり等高齢者数								
				(2)								
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
				計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)	人	1559	1517	1896	1529	1960					
	活動指標(2)	人		552	473	573	490					
	成果指標(1)	%	100	13.9		14.8	12.7					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	9,847	10,748	12,741	10,511	14,911					
	職員数(正規   非常勤)	人	0.20	0.30	0.50	0.50	0.45	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,815	2,722	4,537	4,537	4,083	10年度成果指標式は、利用率(利用実数 / 理髪券交付枚数)で算出した。			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +	千円	11,662	13,470	17,278	15,048	18,994					
	単位あたりコスト ÷	円	7,480	8,879	9,113	9,841	9,691					
	財源	受益者負担分	千円			940	927	812				
		国・都からの支出金	千円			2,844	2,075	3,234				
		その他特定財源	千円									
		特定財源計 + +	千円	0	0	3,784	3,002	4,046				
差引:一般財源 -	千円	11,662	13,470	13,494	12,046	14,948						
受益者負担比率 ÷	%			5.4	6.2	4.3						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	11年度契約店舗(理容のみ)241店 12年度美容組合と契約 理容 236店 美容室 44店 13年度理容232店 美容45店 寝たきり高齢者 13年度 = 3872										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	回数が少ない。どこの理美容店でも利用できるように。										
	今後の予測	要介護高齢者の増加に伴い、本事業の需用はますます増加するものとみこまれる。										



# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		寝具洗濯乾燥サービス				整理番号	212		細番号				
所属部課名		保健福祉部高齢者在宅サービス課		コード	91701	連絡先電話番号	1173		昨年度整理番号	205			
係名 事業係		上位施策名						NO					
予算事業名		理髪サービス等		コード	23400	高齢者の地域社会での介護予防と自立支援				31			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		49 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 東京都介護予防・生活支援事業実施要綱						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区高齢者寝具洗たく乾燥事業要綱								
	介護保険の要介護・要支援の認定を受けている人。または同じような状態の65歳以上の在宅者。		(3)										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		活動指標名(式)										
区は、申請受付及び利用決定を行い、寝具洗濯乾燥業務については業者委託。敷ふとん・マットレスの水洗いを年2回、乾燥を年10回。掛ぶとん・毛布の乾燥を年12回実施。費用負担あり。		(1) 利用回数											
		(2) 受給者数											
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		成果指標名(式)											
快適な日常生活を維持し、自立した生活を確保する。		(1) 寝具洗たく乾燥サービス利用者数 ÷ 寝たきり等高齢者数											
		(2)											
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか													
衛生管理・介護予防の面で効果があり、「自立した質の高い生活」の実現を図ることができる。													
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度計画		目標値	目標値に対する12年度の達成率%	
							計画	実績			年度		
指標	活動指標(1)		回	2,200	2,315	2,904	2,001	2,760					
	活動指標(2)		人		271	242	253						
	成果指標(1)		%		7		7						
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,592	2,377	7,412	1,909	3,922					
	職員数(正規   非常勤)		人	0.20		0.30		0.50		0.50		0.80	特記事項
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,815	2,722	4,537	4,537	7,258				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	7,407	5,099	11,949	6,446	11,180					
	単位あたりコスト ÷		円	3,367	2,203	4,114	3,221	4,051					
	財源	受益者負担分		千円			310	236	244				
		国・都からの支出金		千円	4,311	1,801	5,191	2,825	2,561				
		その他特定財源		千円									
		特定財源計 + +		千円	4,311	1,801	5,501	3,061	2,805				
差引:一般財源 -		千円	3,096	3,298	6,448	3,385	8,375						
受益者負担比率 ÷		%			2.6	3.7	2.2						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		要介護高齢者の推移:昭和50年 1747人 平成13年 3872人										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		水洗いの回数が少ない。										
	今後の予測		要介護高齢者の増加に伴い、本事業への需要もますます増加するものと予測される。										



# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		福祉機器展示センター運営				整理番号	213		細番号		
所属部課名		保健福祉部高齢者在宅サービス課		コード	91701	連絡先電話番号	1173		昨年度整理番号	208	
係名 事業係				上位施策名					NO		
予算事業名				福祉機器給付・貸付等		コード	23600		高齢者の地域社会での介護予防と自立支援		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 8 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 杉並区福祉機器展示センター運営事業実施要綱						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 在宅介護に関する情報が必要な区内在住、在勤、在学者				(2)						
					(3)						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 福祉用具と住宅改造モデルを展示し、用具の活用や操作方法、住宅の段差解消や手すり設置方法等の体感と各々相談業務の実施。（開館日：年末年始を除く毎日） 杉樹会に委託				活動指標名(式) (1) 来館者数 (2) 福祉機器展示センター開館日数						
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 福祉用具や住宅改造モデルを実際に体験（相談）することで、在宅介護に対する疑問等が解消され、福祉機器など必要なものが明確となり、スムーズに購入することができる。				成果指標名(式) (1) 来館者数 ÷ 福祉用具利用意向のある要介護認定者 (2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 情報提供と相談業務の機能を充実することで、高齢者や障害者が自立して社会参加できるようになり、在宅介護を行う家族等の負担が軽減される。その結果、共に生きる福祉基盤が整備される。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		人	1398	1458		468				
	活動指標(2)		日	295	294	346	346	359			
	成果指標(1)		%				15.84				
	成果指標(2)		%								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	16,846	16,733	16,698	16,312	16,606			
	職員数(正規・非常勤)		人	0.55	0.10	0.10	0.10	0.20	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	4,990	907	907	907	1,815			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	21,836	17,640	17,605	17,219	18,421			
	単位あたりコスト ÷		円	15,620	12,099		36,793				
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円							
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 -		千円	21,836	17,640	17,605	17,219	18,421				
受益者負担比率 ÷		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		高齢者人口 平成8年 74,172人 平成13年 86,050人								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)										
	今後の予測		高齢者人口の増加により、来館者の増大は見込まれるが、そのためには常に最新の用具等と情報を持っていなければならない。								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		住宅改修業者研修				整理番号	214		細番号	2			
所属部課名		保健福祉部高齢者在宅サービス課		コード	91701	連絡先電話番号	1173		昨年度整理番号				
係名 事業係				上位施策名				NO					
予算事業名 住宅改修費助成				地域福祉の基盤整備				35					
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 5 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 杉並区高齢者住宅改造費助成事業実施要綱								
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 福祉型住宅改修業者登録を希望する建築業者等及び既登録業者				(2)								
					(3)								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） ケースワーカー、OT（作業療法士）・PT（理学療法士）等が講師になり、改造の標準を示して助成事業の概要・見積りの出し方等を説明する。				活動指標名(式) (1) 研修受講業者数 (2)								
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 高齢者・障害者の身体的特性及び住宅改造のポイントを理解してもらうことにより、事業の円滑な推進を図る。				成果指標名(式) (1) 研修受講業者請負件数 ÷ 福祉型住宅改修事業請負件数 (2)									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 高齢者・障害者が、効果的かつ適正な住宅改修を行うことにより、自立した安全な在宅生活を送ることができる。													
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度計画		目標値	目標値に対する12年度の達成率%	
							計画	実績			年度		
指標	活動指標(1)		社	0	0			182	249				
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		%					68.5					
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	0	0	0	0	0	51				
	職員数(正規   非常勤)		人	0.12	0.11	0.10	0.20	0.20			特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,089	998	907	1,815	1,815					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	1,089	998	907	1,815	1,866					
	単位あたりコスト ÷		円				9,970	7,492					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都からの支出金		千円									
		その他特定財源		千円									
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	1,089	998	907	1,815	1,866						
受益者負担比率 ÷		%											
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		事業開始当初は、福祉型住宅改造の知識をもつ業者は少なかった。しかし、介護保険制度の開始に伴い、介護保険制度の開始を契機に需要を見込んだ業者が参入しようとしている。12年度受講業者請負件数 = 76件 福祉型住宅改修事業登録数 = 249										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)												
	今後の予測		高齢者人口の増加に伴い、介護保険の住宅改修も含め需要はますます増加する。										

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		福祉電話等設置				整理番号	215		細番号				
所属部課名		保健福祉部高齢者在宅サービス課		コード	91701	連絡先電話番号	1173		昨年度整理番号	211(1)			
係名 事業係		上位施策名						NO					
予算事業名		福祉電話等設置		コード	23800		高齢者の地域社会での介護予防と自立支援		31				
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		48 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 杉並区高齢者日常生活用具・福祉電話設置事業要綱 (2) 東京都高齢者いきいき事業補助要綱 (3)							
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		65歳以上の高齢者のみの世帯で、近隣に親族が居住しておらず、世帯全員の住民税が非課税であること。									
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）	対象世帯に区長名義の電話を貸与し、回線使用料等固定料金及び工事費を助成する。福祉事務所に申請すると、担当者が調査を行い利用決定をする。					活動指標名(式) (1) 電話設置数 (2) 電話基本料金						
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）	電話の設置が困難な高齢者のみ世帯が、電話の設置により自立した日常生活を維持し、連絡手段を確保する。					成果指標名(式) (1) 設置世帯数 ÷ 高齢者のみの非課税世帯数 (2)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 通信手段を確保することにより、高齢者が安心して自立した生活が送れるようになり、ひいては介護予防にもつながっている。													
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%				
					計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)		台	295	302	315	309	330					
	活動指標(2)		千円	9,236	9,797	8,887	8,925	8,884					
	成果指標(1)		%	1.47	1.46	2.41	2.36	2.52					
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	9,263	9,823	8,926	8,219	8,923					
	職員数(正規   非常勤)		人	0.40	0.40	0.40	0.60	0.50	特記事項 平成12年度から現金給付の福祉施策を取りやめることに伴い、通信手段確保に要する経費以外は、全額自己負担とした。また、対象者の経済的要件を住民税非課税世帯に引き下げた。				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	3,629	3,629	3,629	5,444	4,537					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	12,892	13,452	12,555	13,663	13,460					
	単位あたりコスト ÷		円	43,702	44,544	39,858	44,216	40,786					
	財源	受益者負担分		千円			672	207			300		
		国・都からの支出金		千円			4,126	4,126			4,312		
		その他特定財源		千円									
		特定財源計 ++		千円	0	0	4,798	4,333			4,612		
差引:一般財源 -		千円	12,892	13,452	7,757	9,330	8,848						
受益者負担比率 ÷		%			5.4	1.5	2.2						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		高齢者夫婦世帯数 10年 = 20093 11年 = 20679、高齢者のみの非課税世帯数 12年度 = 13085 13年度 = 13085										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		ダイヤル通話料も従前どおり助成して欲しい。手の不自由な人には、プッシュホンが利用できるようにしてほしい。										
	今後の予測		電話架設時にかかる経費の低下・通信事業の競争による電話料金の低価格化・ITの進展による他の通信手段の普及										

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		友愛訪問員派遣				整理番号	217		細番号		
所属部課名		保健福祉部高齢者在宅サービス課		コード	91701	連絡先電話番号	1173		昨年度整理番号	213	
係名 事業係				上位施策名					NO		
予算事業名				友愛訪問員派遣		コード	6800		高齢者の地域社会での介護予防と自立支援		31
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				48 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有				平成 年度		(1) 杉並区ゆうあい訪問員設置要綱				
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 東京都高齢者いきいき事業補助要綱						
	おおむね65歳以上のひとり暮らし、または高齢者のみの世帯の人				(3)						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				活動指標名(式)						
	地域の訪問員が家庭を週1回程度訪問し話し相手や安否の確認をおこなう。				(1) ゆうあい訪問員活動延人員 (2) 訪問対象者数						
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				成果指標名(式)							
利用者の安否確認をすることにより、事故を未然に防止する。				(1) ひとり暮らし高齢者中の対象者率 (2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 高齢者の孤独感の解消、事故の未然防止を図ることにより、地域での自立した生活を可能としている											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		延人	840	907	936	424	600			
	活動指標(2)		人	75	77	78	31				
	成果指標(1)		%	8	8	8	4	5			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,691	3,066	2,151	929	1,353			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.15	0.20	0.20	0.20	0.20	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,361	1,815	1,815	1,815	1,815			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	4,052	4,881	3,966	2,744	3,168			
	単位あたりコスト ÷		円	4,824	5,381	4,237	6,471	5,279			
	財源	受益者負担分		千円	0						
		国・都からの支出金		千円	0			1,075	676		
		その他特定財源		千円	0						
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	1,075	676		
差引:一般財源 -		千円	4,052	4,881	3,966	1,669	2,492				
受益者負担比率 ÷		%	0.0								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		高齢者の推移 ひとり暮らし 50年 3374人 13年 10928人 高齢者のみの世帯 13年 21943人								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		安否確認を毎日行ってほしい。(利用者) 手ぶらでは行きにくい。(訪問員)								
	今後の予測		ひとり暮らし高齢者・高齢者のみの世帯の増加・近隣関係の希薄化が進み、孤独な高齢者が増える。								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者緊急通報システム(消防庁)				整理番号	218		細番号				
所属部課名		保健福祉部高齢者在宅サービス課		コード	91701	連絡先電話番号	1173		昨年度整理番号	215			
係名 事業係		上位施策名						NO					
予算事業名		ひとりぐらし高齢者等安心システム		コード	24200	高齢者の地域社会での介護予防と自立支援				31			
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		60 年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 東京都高齢者緊急通報システム事業実施要綱							
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区高齢者緊急通報システム事業運営要綱									
	おおむね65歳以上のひとりぐらし又は夫婦等の世帯の高齢者であって、身体上、慢性疾患があるなど日常生活を営む上で、常時注意を要する状態にある人。					(3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 急病に陥ったとき、ペンダントのボタンを押すだけで、救急車及び近隣の協力員が駆けつけるシステム。家庭用専用通報機を購入し、申請者宅を訪問調査した上で、対象となる方に機器を設置する。					活動指標名(式) (1) 利用世帯数  (2)							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 家庭用専用通報機を設置して、急病に陥ったとき、ペンダントのボタンを押すだけで、救急車及び近隣の協力員が駆けつけて迅速な対応が行われ、当該高齢者の安全を確保する。					成果指標名(式) (1) 設置世帯数 ÷ 一人暮らし高齢者数  (2)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか ひとりぐらし高齢者が安心感を得られることにより、地域での、より自立した生活が可能となる。													
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%				
					計画	実績		15年度					
指標	活動指標(1)		世帯	425	435	493	436	478	468	93.2			
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		%	4.8	4.7	5.2	4.6	4.4	4.3	107.0			
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	19,316	24,645	26,036	20,592	24,052					
	職員数(正規・非常勤)		人	0.80	1.50	1.00	1.70	1.70	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	7,258	13,610	9,073	15,424	15,424	単位あたりのコストは、人件費を除くと、民間事業者の場合もほぼ同じである。15年度の目標値は、消防庁、民間と合わせ670世帯。協力員確保が困難になっていることから、民間緊急通報システムを増やしていく。しかし、病状等により、消防庁利用者も増加する。				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	26,574	38,255	35,109	36,016	39,476					
	単位あたりコスト ÷		円	62,528	87,941	71,215	82,606	82,586					
	財源	受益者負担分		千円	7	13	365	197			270		
		国・都からの支出金		千円	9,654	16,161	17,384	12,382			12,382		
		その他特定財源		千円									
		特定財源計 ++		千円	9,661	16,174	17,749	12,579			12,652		
差引:一般財源 -		千円	16,913	22,081	17,360	23,437	26,824						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	1.0	0.5	0.7						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		ひとりぐらし高齢者数 10年 = 8904 11年 = 9164 12年 = 9449 13年 = 10928										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		高齢であるということで、用心のために設置を望む声も強い。										
	今後の予測		核家族化が進み、ひとりぐらし高齢者等の増加が見込まれるため、本事業への需用は今後ますます増加するものと見込まれる。										



# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者緊急通報システム(民間)				整理番号	219		細番号					
所属部課名		保健福祉部高齢者在宅サービス課		コード	91701	連絡先電話番号	1173		昨年度整理番号	215				
係名 事業係				上位施策名				NO						
予算事業名				ひとりぐらし高齢者等安心システム		コード	24200		高齢者の地域社会での介護予防と自立支援		31			
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12 年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業									
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 東京都高齢者緊急通報システム事業実施要綱									
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 おおむね65歳以上のひとりぐらし又は夫婦等の世帯の高齢者であって、身体上、慢性疾患があるなど日常生活を営む上で、常時注意を要する状態にある人。				(2) 杉並区高齢者緊急通報システム事業運営要綱									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 協力員が得られない対象者が急病に陥ったとき、ペンダントのボタンを押すだけで、救急車及び契約の事業者が駆けつけるシステム。家庭用専用通報機を購入し、申請者宅調査した上で、対象となる方に機器を設置する。				活動指標名(式)									
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 家庭用専用通報機を設置して、急病に陥ったとき、ペンダントのボタンを押すだけで、救急車及び契約の事業者が駆けつけて迅速な対応が行われ、当該高齢者の安全を確保する。				成果指標名(式)									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 民間事業者を利用することにより、緊急時に連絡ができて、迅速に救助されるという安心感をひとりぐらし高齢者等に与えられることで、高齢者が豊かにより自立して生きるための施策を実施する。														
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度		目標値	目標値に対する12年度の達成率%				
					計画	実績	計画		15年度					
指標	活動指標(1)		世帯			57	52	112		202	25.7			
	活動指標(2)													
	成果指標(1)		件			0.6	0.6	1		1.8				
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円			5,927	983							
	職員数(正規 非常勤)		人			0.20	0.20	0.20		特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	1,815	1,815	1,815		単位あたりのコストは、人件費を除くと、消防庁とほぼ同じである。15年度目標値は、(消防庁)との合計値を基に算出。				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0						
	総事業費 ++		千円	0	0	7,742	2,798	1,815						
	単位あたりコスト ÷		円			135,818	53,800	16,202						
	財源	受益者負担分		千円			213	19	42					
		国・都からの支出金		千円			1,689	453						
		その他特定財源		千円										
		特定財源計 ++		千円	0	0	1,902	472	42					
差引:一般財源 -		千円	0	0	5,840	2,326	1,773							
受益者負担比率 ÷		%			2.8	0.7	2.3							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		ひとりぐらし高齢者数 12年 = 9449 13年 = 10928											
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		高齢であるということで、用心のために設置を望む声も強い。近隣に協力員がいない人などには好評である。											
	今後の予測		核家族化が進み、ひとりぐらし高齢者等の増加が見込まれるため、本事業への需用は今後ますます増加するものと見込まれる。											



# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者火災安全システム				整理番号	220		細番号																																																																																																																																																														
所属部課名		保健福祉部高齢者在宅サービス課		コード	91701	連絡先電話番号	1173		昨年度整理番号																																																																																																																																																														
係名 事業係		上位施策名						NO																																																																																																																																																															
予算事業名		ひとりぐらし高齢者等安心システム		コード	24200	高齢者の地域社会での介護予防と自立支援			31																																																																																																																																																														
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		11年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業																																																																																																																																																																
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 杉並区高齢者火災安全システム事業運営要綱 (2) 東京都高齢者火災安全システム事業実施要綱 (3)																																																																																																																																																																
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		寝たきり高齢者及び高齢者のみの世帯等の高齢者																																																																																																																																																																		
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		火災警報機等の給付。 火災自動通報の実施。（これに必要な機器の給付・貸与を含む）				活動指標名(式) (1) 利用世帯数 (2) 機器設置数																																																																																																																																																																
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）		火災の発生に伴う火災警報機からの信号を東京消防庁に自動通報することにより、火災に対する迅速な消火活動及び高齢者の救助等を行う。				成果指標名(式) (1) 設置世帯数 ÷ 高齢者夫婦世帯数 (2)																																																																																																																																																																
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 在宅高齢者の生活の安全を確保することで、地域での自立生活を支えている。																																																																																																																																																																							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">10年度実績</th> <th rowspan="2">11年度実績</th> <th colspan="2">12年度</th> <th rowspan="2">13年度計画</th> <th colspan="2">目標値</th> <th rowspan="2">目標値に対する12年度の達成率%</th> </tr> <tr> <th>計画</th> <th>実績</th> <th>15年度</th> <th>年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">指標</td> <td>活動指標(1)</td> <td>件</td> <td></td> <td></td> <td>18</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>活動指標(2)</td> <td>台</td> <td></td> <td></td> <td>34</td> <td>26</td> <td>34</td> <td>34</td> <td>76.5</td> </tr> <tr> <td>成果指標(1)</td> <td>%</td> <td></td> <td></td> <td>0.08</td> <td>0.08</td> <td>0.08</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果指標(2)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">総事業費・コスト把握</td> <td>事業費</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td>1,183</td> <td>1,092</td> <td>3,543</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>職員数(正規   非常勤)</td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td>0.40</td> <td>0.40</td> <td>0.40</td> <td colspan="2" rowspan="10">                     特記事項                      平成11年度は 218 高齢者緊急通報システム(消防庁)として執行。12年度より本事業として予算執行項目を設置した。                 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">人件費</td> <td>職員分(超勤分含む)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3,629</td> <td>3,629</td> <td>3,629</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員分</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>総事業費 + +</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4,812</td> <td>4,721</td> <td>7,172</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>単位あたりコスト ÷</td> <td>円</td> <td></td> <td></td> <td>267,344</td> <td>262,289</td> <td>398,456</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">財源</td> <td>受益者負担分</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td>60</td> <td>45</td> <td>143</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>国・都からの支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td>688</td> <td>182</td> <td>1,801</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他特定財源</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特定財源計 + +</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>748</td> <td>227</td> <td>1,944</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>差引:一般財源 -</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4,064</td> <td>4,494</td> <td>5,228</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>受益者負担比率 ÷</td> <td>%</td> <td></td> <td></td> <td>1.2</td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	計画	実績	15年度	年度	指標	活動指標(1)	件			18	18	18	18	100.0	活動指標(2)	台			34	26	34	34	76.5	成果指標(1)	%			0.08	0.08	0.08			成果指標(2)									総事業費・コスト把握	事業費	千円			1,183	1,092	3,543			職員数(正規   非常勤)	人			0.40	0.40	0.40	特記事項 平成11年度は 218 高齢者緊急通報システム(消防庁)として執行。12年度より本事業として予算執行項目を設置した。		人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	3,629	3,629	3,629	非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	総事業費 + +	千円	0	0	4,812	4,721	7,172			単位あたりコスト ÷	円			267,344	262,289	398,456			財源	受益者負担分	千円			60	45	143			国・都からの支出金	千円			688	182	1,801			その他特定財源	千円								特定財源計 + +	千円	0	0	748	227	1,944			差引:一般財源 -	千円	0	0	4,064	4,494	5,228			受益者負担比率 ÷	%			1.2	1.0	2.0		
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%																																																																																																																																																														
				計画	実績		15年度	年度																																																																																																																																																															
指標	活動指標(1)	件			18	18	18	18	100.0																																																																																																																																																														
	活動指標(2)	台			34	26	34	34	76.5																																																																																																																																																														
	成果指標(1)	%			0.08	0.08	0.08																																																																																																																																																																
	成果指標(2)																																																																																																																																																																						
総事業費・コスト把握	事業費	千円			1,183	1,092	3,543																																																																																																																																																																
	職員数(正規   非常勤)	人			0.40	0.40	0.40	特記事項 平成11年度は 218 高齢者緊急通報システム(消防庁)として執行。12年度より本事業として予算執行項目を設置した。																																																																																																																																																															
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	3,629	3,629			3,629																																																																																																																																																													
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			0																																																																																																																																																													
	総事業費 + +	千円	0	0	4,812	4,721	7,172																																																																																																																																																																
	単位あたりコスト ÷	円			267,344	262,289	398,456																																																																																																																																																																
	財源	受益者負担分	千円			60	45			143																																																																																																																																																													
		国・都からの支出金	千円			688	182			1,801																																																																																																																																																													
		その他特定財源	千円																																																																																																																																																																				
		特定財源計 + +	千円	0	0	748	227			1,944																																																																																																																																																													
差引:一般財源 -		千円	0	0	4,064	4,494	5,228																																																																																																																																																																
受益者負担比率 ÷	%			1.2	1.0	2.0																																																																																																																																																																	
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		高齢者夫婦世帯数 12年 = 21323 13年 = 21943																																																																																																																																																																				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		高齢であるということで、設置を望む声も多い。																																																																																																																																																																				
	今後の予測		核家族化が進み、ひとりぐらし高齢者等の増加が見込まれるため、本事業への需要はますます増加するものと見込まれる。																																																																																																																																																																				

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		徘徊高齢者探索システム				整理番号	221		細番号		
所属部課名		保健福祉部高齢者在宅サービス課		コード	91701	連絡先電話番号	1173		昨年度整理番号		
係名 事業係				上位施策名				NO			
予算事業名				ひとりぐらし高齢者等安心システム		コード	24200		高齢者の地域社会での介護予防と自立支援		
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 東京都介護予防・生活支援事業実施要綱 (2) 杉並区痴呆性高齢者探索システム事業実施要綱 (3)				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		痴呆による徘徊のある高齢者を在宅で介護する人。						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		介護者に対し、探索機の貸与及びPHS回線を利用した探索システムによる位置情報の提供を行う。区費用負担あり		活動指標名(式)		(1) 徘徊探索システム延べ利用者数  (2)				
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）		徘徊高齢者の早期発見と安全の確保に役立てる。		成果指標名(式)		(1) 徘徊探索システム実利用者数 ÷ 痴呆性高齢者数  (2)				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 介護者の精神的・経済的負担の軽減を図ることにより、要介護者及び介護者の地域での自立生活を支えている。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績		15年度			
指標	活動指標(1)		人			720	136	763	900	15.1	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%				9.21				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円			4,934	1,092	4,902			
	職員数(正規   非常勤)		人			0.80	0.80	0.60	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	7,258	7,258	5,444			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	0	0	12,192	8,350	10,346			
	単位あたりコスト ÷		円			16,934	61,400	13,559			
	財源	受益者負担分		千円			289	95	294		
		国・都からの支出金		千円			3,454	2,816	2,027		
		その他特定財源		千円							
		特定財源計 + +		千円	0	0	3,743	2,911	2,321		
差引:一般財源 -		千円	0	0	8,449	5,439	8,025				
受益者負担比率 ÷		%			2.4	1.1	2.8				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		痴呆性高齢者数 平成12年 3,428人 平成13年 3,528人								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		探索機を小型化してほしい。								
	今後の予測		高齢者人口の増加に伴い、痴呆性高齢者も自然増が見込まれる。								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		老人福祉手当			整理番号	222		細番号		
所属部課名		保健福祉部高齢者在宅サービス課		コード	91701		連絡先電話番号	1173		
係名 事業係					上位施策名				NO	
予算事業名		老人福祉手当等支給		コード	24800		高齢者の地域社会での介護予防と自立支援		31	
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		48 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期	<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有		平成 14 年度		(1) 杉並区老人福祉手当条例				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区老人福祉手当条例施行規則						
	65歳以上(若年性痴呆の場合は65歳未満も含む)でねたきりまたは痴呆の状態が3ヶ月継続し、なお継続すると認められる人。					(3)				
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順) 本人の申請により身体状況を調査し、年4回本人に支払う。					活動指標名(式) (1) 支給延人数  (2)				
意図(対象をどのような状態にしたいのか) ねたきり等高齢者の経済的、身体的あるいは精神的負担を軽減する。また、介護者の負担軽減を図る。					成果指標名(式) (1) 寝たきり高齢者推計数(杉並区高齢者の生活実態と意識調査平成8年6月)に対する老人福祉手当受給者数の割合 (2)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 介護保険実施以前は、在宅サービスを補完する上で一定の役割を果たしてきた。										
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%	
					計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		人	39,928	40,047	41,380	35,781	35,712		
	活動指標(2)									
	成果指標(1)		%	86	84	84	78	61		
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,162,456	2,169,648	1,796,833	1,543,078	1,047,296		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.80	1.17	0.60	0.70	0.50	特記事項 本事業が平成14年度をもって廃止され、新規申請の受付も終了しているため指標の%が下がっている。	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	7,258	10,615	5,444	6,351	4,537		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	2,169,714	2,180,263	1,802,277	1,549,429	1,051,833		
	単位あたりコスト ÷		円	54,341	54,443	43,554	43,303	29,453		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都からの支出金		千円						
		その他特定財源		千円						
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	2,169,714	2,180,263	1,802,277	1,549,429	1,051,833			
受益者負担比率 ÷		%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		要介護高齢者の推計(ねたきり高齢者数)昭和50年 1,747人 平成12年 4,097人 平成12年度より介護保険制度開始							
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		ねたきりになった時点から遡って支給して欲しい。手当を廃止しないでほしい。							
	今後の予測		東京都や他区の動向を見ながら、介護保険制度充実に向けて限りある資源の活用のためさらに検討が必要である。							

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		家族介護用品の支給				整理番号	224		細番号				
所属部課名		保健福祉部高齢者在宅サービス課		コード	91701		連絡先電話番号	1173					
係名 事業係						上位施策名	NO						
予算事業名		老人福祉手当等支給		コード	24800		高年齢者の地域社会での介護予防と自立支援		31				
事務事業の概要	事業開始年度	○昭和 ●平成		12年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期	●無 ○有		平成 年度		(1) 東京都介護予防・生活支援事業実施要綱							
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区高齢者おむつ等支給要綱									
	おむつ等介護用品を必要とする40歳以上の在宅高齢者等で介護保険の認定を受けている人。					(3)							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）					活動指標名(式)							
区が杉並区薬剤師会に業務を委託。区は申請受付及び支給決定を行う。毎月1回利用者宅におむつ等介護用品を配送。費用負担あり					(1) おむつ等介護用品支給決定者延べ人数								
					(2)								
意図（対象をどのような状態にしたいのか）					成果指標名(式)								
おむつ等介護用品を必要とする高齢者等に紙おむつ等介護用品を支給することにより、本人の快適な日常生活の維持と介護者又は家族の負担の軽減する。					(1) 支給決定者実人数								
					(2)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか													
高齢者等の在宅生活の継続及び向上並びに介護者等の身体的、精神的、経済的負担の軽減													
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%				
					計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)		人			16,356	20,836	26,856					
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		人				2219						
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円			99,711	97,714	192,712					
	職員数(正規   非常勤)		人			4.62	4.62	5.40	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	41,917	41,917	48,994	支給決定者延べ人数は、計画人数に比べかなりの増となったが、利用実績が支給限度額まで達している方が少なかったため、事業費は計画より減となった。また、補助金対象者人数が当初計画人数より大幅に下回ったため、国・都からの支出金が減となった。				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	0	0	141,628	139,631	241,706					
	単位あたりコスト ÷		円			8,659	6,701	9,000					
	財源	受益者負担分		千円			8,244	5,569			8,804		
		国・都からの支出金		千円			35,835	11,745			25,452		
		その他特定財源		千円									
		特定財源計 ++		千円	0	0	44,079	17,314			34,256		
差引:一般財源 -		千円	0	0	97,549	122,317	207,450						
受益者負担比率 ÷		%			5.8	4.0	3.6						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		介護保険の認定者数 H12.4 8,738人 H13.3 9,884人 H13.5 10,169人										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		現金給付並びに償還払いへの希望が多く、金額についても上げてもらいたいという多くの声がある。										
	今後の予測		高齢者人口の増加に伴い、要援護高齢者も増加の一途をたどり利用者も自然増は免れない。本事業は介護性の高いサービスであり、国の特別対策である「家族介護支援事業」の廃止等があった場合、介護保険料を財源とする「特別給付」にすることも含め、今後、制度等の見直しを図る。										

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ケアプラン作成				整理番号	229		細番号	1					
所属部課名		保健福祉部高齢者在宅サービス課		コード	91704		連絡先電話番号	1176		昨年度整理番号	230				
係名				在宅支援係				上位施策名			NO				
予算事業名				居宅介護支援		コード	25700		高齢者の地域社会での介護予防と自立支援			31			
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		10年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期				<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 介護保険法						
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2)						
	要支援・要介護認定者で、一人暮らしの痴呆高齢者など民間の居宅介護支援事業者でのケアプラン作成が困難な人。								(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				民間の居宅介護支援事業者でのケアプラン作成が困難な方に、区が居宅介護支援事業者としてケアプランを作成する。				活動指標名(式)						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				介護サービス計画作成を希望する要支援・要介護認定者の全てに、計画が作成されることにより居宅サービスの利用を可能とする。				成果指標名(式)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか				全ての介護保険認定者に介護保健サービスが提供できる体制を整え、安心して在宅生活を送れるようにする。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画		目標値		目標値に対する12年度の達成率%				
					計画	実績			年度						
指標	活動指標(1)		人		77	4968	2093	1824							
	活動指標(2)														
	成果指標(1)		%					3.7							
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	194	840	7,049	5,434	6,054							
	職員数(正規 非常勤)		人		3.16	6.60	6.80	6.00		特記事項					
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	28,671	59,882	61,696	54,438		平成12年度介護保険制度を実施					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0							
	総事業費 ++		千円	194	29,511	66,931	67,130	60,492							
	単位あたりコスト ÷		円		383,256	13,472	32,074	33,164							
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都からの支出金		千円	172	0	13,750	13,123	13,861						
		その他特定財源		千円											
		特定財源計 ++		千円	172	0	13,750	13,123	13,861						
差引:一般財源 -		千円	22	29,511	53,181	54,007	46,631								
受益者負担比率 ÷		%													
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		厚生省の介護報酬単価の決定が遅れ、実質的な介護サービス計画の作成は12年2月以降に集中した。このため、12年の介護保険制度開始時は、区が相談や事業者の紹介、さらにはケアプラン作成などの対応を行った。13年度になり、居宅介護支援事業者も周知されつつあり、区が対応するケースは減っている。												
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		・居宅介護支援事業者の公正・中立性は制度の根幹に関わる問題なので、区として適性に指導してほしい。 ・居宅介護支援事業者について積極的な情報提供に努めて欲しい。												
	今後の予測		ケアプランの作成は民間の居宅介護支援事業者が主体となって行なうものである。介護保険事業者の情報がさらに周知されれば、公的機関でケアプランを作成しなければならないケースだけ対応することになり、作成件数は少なくなると見込まれる。												



# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

<b>評価対象事務事業名</b> 訪問保健指導		<b>整理番号</b> 229	<b>細番号</b> 2						
<b>所属部課名</b> 保健福祉部高齢者在宅サービス課		<b>コード</b> 91701	<b>連絡先電話番号</b> 1182						
<b>係名</b> 保健指導主査		<b>上位施策名</b> NO							
<b>予算事業名</b> 訪問指導		<b>コード</b> 25720	<b>高年齢者の地域社会での介護予防と自立支援</b> 31						
<b>事務事業の概要</b>	<b>事業開始年度</b> <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 50 年度	<b>根拠法令等</b> <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	<b>事業終期</b> <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度	(1) 老人保健法第4、12、19、20条							
	<b>対象</b> <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内に住む概ね40歳以上の寝たきり若しくはこれらの状態になる可能性の高い区民及び痴呆症患者等の在宅者。	(2) 杉並区訪問指導事業実施要綱							
	<b>活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)</b> 対象者の家庭を保健婦・訪問指導員が訪問し、療養・看護方法、機能訓練方法、医療の確保、社会参加等についての相談指導を行う。対象者の把握は、区民や家族・ケア24や医療機関等の関係機関との連携相談による。指導員の派遣は、自立支援会議・訪問判定会議で決定される。	(3)							
	<b>活動指標名(式)</b>	(1) 訪問指導延べ回数 (2) 訪問指導実人数							
<b>意図 (対象をどのような状態にしたいのか)</b> 対象者の介護状況の改善や適切な疾病管理等の療養状況の改善、閉じこもり予防等の人との交流・社会参加への改善ができるようになる。これらを改善することにより、心身の機能低下を予防し、主観的健康観を高め生活の質の向上をはかる。	<b>成果指標名(式)</b>								
<b>意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか</b> 高齢者の健康を確保し、豊かに自立して生きるまち及び、安心して暮らし続けられるまちを実現する。		(1) 指導員派遣実施後の改善率(指導員派遣実施後の改善者数 / 訪問指導実人数 × 100) 注:改善者 = 介護状況改善、療養状況改善、人との交流・社会参加改善の実人数 (2)							
<b>区分</b>	<b>単位</b>	<b>10年度実績</b>	<b>11年度実績</b>	<b>12年度</b>		<b>13年度計画</b>	<b>目標値</b>	<b>目標値に対する12年度の達成率%</b>	
				<b>計画</b>	<b>実績</b>		<b>年度</b>		
<b>指標</b>	活動指標(1)	回	6,827	4,806	2,715	2,316	3,000		
	活動指標(2)	人		1,572	1,765	1,407	1,500		
	成果指標(1)	%	71	81	100	80	85		
	成果指標(2)								
<b>総事業費・コスト把握</b>	<b>事業費</b>	千円	17,845	16,741	17,830	7,848	9,318		
	<b>職員数(正規   非常勤)</b>	人	6.55	4.50	3.25	3.35	2.52	<b>特記事項</b>	
	<b>人件費</b>	職員分(超勤分含む)	千円	59,428	40,829	29,487	30,395		22,864
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		0
	<b>総事業費 + +</b>	千円	77,273	57,570	47,317	38,243	32,182		
	<b>単位あたりコスト ÷</b>	円	11,319	11,979	17,428	16,512	10,727		
	<b>財源</b>	受益者負担分	千円						
		国・都からの支出金	千円	7,320	7,318	14,781	4,969		6,353
		その他特定財源	千円						
		特定財源計 + +	千円	7,320	7,318	14,781	4,969		6,353
<b>差引:一般財源 -</b>	千円	69,953	50,252	32,536	33,274	25,829			
<b>受益者負担比率 ÷</b>	%								
<b>事業を取り巻く環境</b>	<b>開始当初から現在までの変化</b>	昭和50年に寝たきり老人家庭訪問事業として開始。昭和58年老人保健法に位置づけられた。平成3年訪問看護事業開始後は寝たきり予防を中心に役割分担をした。平成9年に事業を集中化し、事業の効率化を図り、平成12年度介護保険制度開始に伴い、介護予防サービスに体系づけ、対象者を介護予防者と介護保険給付者の内、退院や病状変化の早期の者とし、重度化予防と介護予防・生活支援を実施している。							
	<b>事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)</b>	寝たきりや痴呆の予防対策への要望は高い。介護保険開始後は、介護予防対象者と介護保険給付対象者(退院後や病状変化の早期の方)へ対応しており、重度化しないための指導へ要望が高い。また、痴呆症や家族の心理的な相談は介護保険では対応しきれない面があり、本事業への要望がある。							
	<b>今後の予測</b>	介護予防対象者の把握を自立認定に頼っているため、予測対象者に比して利用が少ない。このため医療機関等との情報収集把握システムを構築することで、より多くの対象者を把握し、早期介入できるようにする。また、介護保険給付対象者の中でも、痴呆症患者や家族介護者の心理的な相談等介護保険では受けきれない面への対応が増えてくる可能性がある。							



# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		訪問機能訓練指導		整理番号	229		細番号	3		
所属部課名		保健福祉部高齢者在宅サービス課		コード	91701		連絡先電話番号	1182		
係名		保健指導主査		上位施策名				NO		
予算事業名		訪問指導		コード	25710		高年齢者の地域社会での介護予防と自立支援		31	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		52 年度		根拠法令等			
	事業終了年度		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 老人保健法第4、12、19、20条 (2) 杉並区訪問指導事業実施要綱 (3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		対象者の家庭を保健婦・訪問指導員が訪問し、機能訓練方法、移動動作、言語訓練、日常生活動作向上等について相談指導を行う。対象者の把握は、区民や家族・ケア24や医療機関等の関係機関との連携相談による。指導員の派遣は、自立支援会議・訪問判定会議で決定される。				活動指標名(式)			
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		適切な機能訓練指導により、日常生活動作が改善されねたきりへの悪化を防止し、対象者の意欲が高まって外出しやすくなり、人との交流・社会参加ができるようになる。これらにより、心身の機能低下を予防し、主観的健康観を高め生活の質の向上をはかる。				成果指標名(式)			
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 高齢者の健康を確保し、豊かに自立して生きるまち及び、安心して暮らし続けられるまちを実現する。										
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		回			計画	実績	665		
	活動指標(2)		人			33	82	110		
	成果指標(1)		%			90	82	90		
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円			6,463	3,642	6,252		
	職員数(正規   非常勤)		人			1.05	1.05	1.03	特記事項 平成11年度までは、訪問保健指導事業の中で事業評価をしてきたが、介護保険導入後の本事業について個別の評価が必要なため、平成12年度から新規評価対象事業とした。	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	0	9,527	9,527		9,345
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		0
	総事業費 ++		千円	0	0	15,990	13,169	15,597		
	単位あたりコスト ÷		円			23,688	34,473	23,454		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都からの支出金		千円			5,457	2,287		4,320
		その他特定財源		千円						
		特定財源計 ++		千円	0	0	5,457	2,287		4,320
差引:一般財源 -		千円	0	0	10,533	10,882	11,277			
受益者負担比率 ÷		%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		昭和50年に開始された寝たきり老人家庭訪問事業に昭和52年から機能訓練を追加。昭和58年老人保健法に位置づけられた。平成9年事業を集中化し、事業の効率化を図り、平成12年度介護保険制度開始に伴い、介護予防サービスに体系づけ、対象者を介護予防者と介護保険給付者の内、退院や病状変化の早期の者とし、重度化予防と介護予防・生活支援を実施している。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		寝たきり予防対策への要望は高い。介護保険開始後は、介護保険給付対象者には退院や病気障害の早期に限定したが、重度化しないためや介護者、訪問看護婦へ指導の要望が高い。また、民間事業の体制が完備されていないため介護保険では対応しきれない面があり、本事業への要望がある。							
	今後の予測		医療機関との連携が確立されると、より多くの対象者の把握ができ、早期介入できるようになる。また、訪問看護ステーションの看護婦への移動動作や機能訓練の相談指導の依頼が増加することも予測される。							

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		訪問歯科指導			整理番号	229		細番号	4		
所属部課名		保健福祉部高齢者在宅サービス課			コード	91701		連絡先電話番号	1182		
係名		保健指導主査			上位施策名	高齢者の地域社会での介護予防と自立支援			NO		
予算事業名		訪問指導			コード	25720		昨年度整理番号	523		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 6年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 老人保健法第4,12,19,20条						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内に住む概ね40歳以上の寝たきり若しくはこれらの状態になる可能性の高い区民及び痴呆症者等の在宅者				(2) 杉並区訪問指導事業実施要綱						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 対象者の家庭を歯科医師、歯科衛生士、訪問指導員が訪問し、口腔に関する疾患、口腔衛生についての相談指導を行う。対象者の把握は、区民や家族・ケア24や医療機関等の関係機関との連携相談による。指導員の派遣は、自立支援会議・訪問判定会議で決定される。				(3)						
	活動指標名(式) (1) 訪問指導延べ回数 (2) 訪問指導実人数				成果指標名(式) (1) 指導員派遣実施後の改善率(指導員派遣実施後の改善者数 / 訪問指導実人数 × 100) (2)						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 適切な口腔衛生管理の必要性や方法を理解し、機能低下予防、ねたきりの未然防止への生活改善ができる。また、寝たきり状態においても、摂食・嚥下の機能低下や、誤嚥性肺炎を防ぎ、生活の質の向上ができる。				意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 高齢者の健康を確保し、豊かに自立して生きるまち及び、安心して暮らし続けられるまちを実現する。							
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%		
				計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)	回		170	192	63	147				
	活動指標(2)	人	153	31	42	4	40				
	成果指標(1)	%		84	100	85	90				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	1,699	1,418	1,538	421	1,447				
	職員数(正規   非常勤)	人	1.01	1.05	0.77	0.30	0.40	特記事項			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	9,164	9,527	6,986	2,722	3,629			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++	千円	10,863	10,945	8,524	3,143	5,076				
	単位あたりコスト ÷	円		64,380	44,397	49,887	34,532				
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都からの支出金	千円			1,364	236	1,016			
		その他特定財源	千円								
		特定財源計 ++	千円	0	0	1,364	236	1,016			
差引: 一般財源 -	千円	10,863	10,945	7,160	2,907	4,060					
受益者負担比率 ÷	%										
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	家庭訪問指導事業に歯科衛生指導を加えて平成6年度から開始。対象者の基準や派遣期間及び実施後の事業評価を行い、事務の効率化を図った。平成11年度に保健福祉の連携を進めるため高齢者福祉部に事務が移管されたが、訪問歯科指導は引き続き保健衛生部各保健センターで実施し、平成12年度から健康推進課が実施することになった。平成12年度からは介護予防サービスに体系づけて実施している。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	寝たきり予防対策への要望は高い。介護保険開始後は介護保険給付対象者には退院や病気障害の早期に限定したが、家族の介護面での相談は介護保険では対応しきれない面があり、本事業への要望がある。また、民間事業の体制が完備されていない現在、介護保険給付対象者に対しての指導を行政の役割として望む声強い。									
	今後の予測	介護予防対象者の把握システムが自立認定に頼っているため、予測対象者に比して利用が少ない。このため医療機関等との情報収集システムを構築することで、より多くの対象者を把握し、早期介入できるようにする。また、介護保険給付対象者の対応は居宅療養管理指導の基盤整備がすすめば順次移行するが、摂食・嚥下等の専門指導は介護保険サービスと調整しつつ継続することが予測される。									

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		訪問栄養指導		整理番号	229		細番号	5			
所属部課名		保健福祉部高齢者在宅サービス課		コード	91701		連絡先電話番号	1182			
係名		保健指導主査		コード	25710		昨年度整理番号	524			
予算事業名		訪問指導		上位施策名		高齢者の地域社会での介護予防と自立支援		NO			
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		8年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 老人保健法第4、12、19、20条		(2) 杉並区訪問指導事業実施要綱		
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		区内に住む概ね40歳以上の寝たきり若しくはこれらの状態になる可能性の高い区民及び痴呆症者、低栄養が考えられる等の在宅者。		(3)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		対象者の家庭を栄養士・訪問指導員が訪問し、健康の保持増進のための食事、食品別の調理方法の紹介、食事介助等についての相談指導を行う。対象者の把握は、区民や家族・ケア24や医療機関等の関係機関との連携相談による。指導員の派遣は自立支援会議・訪問判定会議で決定される。		活動指標名(式)		(1) 訪問栄養指導延べ回数		(2) 訪問栄養指導実人数		
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		適切な栄養管理の必要性や方法を理解し、疾病予防・機能低下予防のための生活改善ができる。また、寝たきり状態においても栄養摂取不足や疾病悪化を防ぎ、生活の質の向上をはかる。		成果指標名(式)		(1) 指導員派遣実施後の改善率(指導員派遣実施後の改善者数/訪問指導実人数×100) 改善者=療養状況改善、介護状況改善実人数		(2)		
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		高齢者の健康を確保し、豊かに自立して生きるまち及び、安心して暮らし続けられるまちを実現する。									
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		回	91	180	114	165				
	活動指標(2)		人	176	37	45	24	50			
	成果指標(1)		%		73	100	79	85			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,252	789	1,314	586	1,443			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.61	0.48	0.30	0.30	0.50	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	5,535	4,355	2,722	2,722	4,537		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	6,787	5,144	4,036	3,308	5,980			
	単位あたりコスト ÷		円		56,528	22,422	29,017	36,239			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都からの支出金		千円	1,251	932	1,137	394	1,016		
		その他特定財源		千円							
		特定財源計 ++		千円	1,251	932	1,137	394	1,016		
差引:一般財源 -		千円	5,536	4,212	2,899	2,914	4,964				
受益者負担比率 ÷		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		家庭訪問指導事業に栄養指導を加えて平成8年度から開始。対象者の基準や派遣期間及び実施後の事業評価を行い、事務の効率化を図った。平成11年度に保健福祉の連携を進めるため高齢者福祉部に事務が移管されたが、栄養指導は杉並保健所健康推進課で実施した。平成12年度は介護保険制度の開始により介護予防サービスに体系づけて実施している。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		寝たきり予防対策への要望は高い。介護保険開始後は介護保険給付対象者には退院や病気障害の早期に限定したが、家族の介護面での相談は介護保険では対応しきれない面があり、本事業への要望がある。また、民間事業の体制が完備されていない現在、介護保険給付対象者に対しての指導を行政の役割として望む声強い。								
	今後の予測		介護予防対象者の把握システムが自立認定に頼っているため、予測対象者に比して利用が少ない。このため医療機関等との情報収集把握システムを構築することで、より多くの対象者を把握し、早期介入できるようにする。また、介護保険給付対象者の対応は居宅療養管理指導の基盤整備がすすめば順次移行するが、栄養管理等の専門指導は介護保険サービスと調整しつつ継続することが予測される。								



# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		訓練指導			整理番号	229	細番号	6				
所属部課名		保健福祉部高齢者在宅サービス課		コード	91704	連絡先電話番号	1176	昨年度整理番号	525			
係名				在宅支援係				上位施策名		NO		
予算事業名				機能訓練		コード	25720		高齢者の地域社会での介護予防と自立支援		31	
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		60年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期				●無 ○有		平成年度		(1) 老人保健法第12、18、20条			
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区通所機能訓練事業実施要綱					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				医師の指示に基づき、理学・作業療法士及び看護婦が基本動作や日常生活動作等の通所訓練を実施する。訓練は6ヶ月とし、介護保険非該当者のグループは週1回、病院から退院して間もない者のグループは週1～2回訓練を行う。							
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				加齢や傷病等により、心身機能が低下した区民の生活の質の向上と社会参加を支援する。閉じこもりや、日常生活動作能力の低下を防止する。							
	成果指標名(式)				(1) 閉じこもりにならなかった割合(訓練終了後、自主グループやデイサービスなどにつながった人の割合) (2) 日常生活動作能力が低下しなかった割合(機能低下しなかった人の割合)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												
高齢者等の在宅生活を支援し、活発で安全な生活を送ることに貢献する。また、介護保険非該当者の要介護状態への移行や、現に要介護状態の者の要介護度の進行を防止することができる。												
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)		人	3996	4408	5160	2804	5760				
	活動指標(2)		回数	661	674	516	503	576				
	成果指標(1)		%	45	53	55	66.1	65				
	成果指標(2)		%	76	86	90	86.2	90				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	49,076	50,608	45,272	44,388	45,269				
	職員数(正規 非常勤)		人	7.56	6.95	5.00	5.47	4.55	特記事項 区内3施設(荻窪・高円寺・高井戸リハビリ教室)で事業を実施。平成12年度の介護保険制度実施後、定員・対象者の見直しを行い、各リハビリ教室、非該当グループ10名、退院早期グループ20名としている。自力での通所が困難な場合には、リフト付きバスにより送迎を行っている。さらに、13年度から、非該当グループの中の対象者で、「転倒予防」に訓練内容を絞ったグループを定員10名で、荻窪リハビリ教室で始める。			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	68,592	63,057	45,365	49,629			41,282	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0	
	総事業費 ++		千円	117,668	113,665	90,637	94,017	86,551				
	単位あたりコスト ÷		円	29,446	25,786	17,565	33,530	15,026				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都からの支出金		千円	32,513	33,132	11,136	11,527			10,752	
		その他特定財源		千円								
		特定財源計 ++		千円	32,513	33,132	11,136	11,527			10,752	
差引: 一般財源 -		千円	85,155	80,533	79,501	82,490	75,799					
受益者負担比率 ÷		%										
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		昭和60年に保健衛生部の事業として上井草保健相談所(現上井草保健センター)で開始した。平成6年東保健所(現高円寺保健センター)に事業を開始。平成7年に他課の機能訓練との要綱を統一し、公平性を図った。平成12年度の介護保険制度の開始に伴い、保健衛生部から高齢者福祉部に移管し、介護保険の非該当者と、病院から退院して間もない人を対象として実施している。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		通所訓練期間を延長してほしい 近くで通えるように施設数を増やしてほしい 介護保険のデイサービスでもこの事業と同じような、リハビリのメニューを実施してほしい。 転倒予防のプログラムを強化してほしい									
	今後の予測		対象者への活発で安全な生活支援へのリハビリテーションの需用は、今後ますます増加するものと見込まれる。本年河北総合病院が開設した維持期リハビリテーション病棟や、通所リハビリテーションの設置状況を見ながらの事業の展開が必要である。しかし、転倒予防などの介護予防の観点でのリハビリの実施施設は当リハビリ教室以外に無く、その必要性も高まると考えられる。そのノウハウを蓄積し、地域でさらに広く展開する必要がある。									

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		地域リハビリ自主グループ支援			整理番号	229	細番号	7	
所属部課名	保健福祉部高齢者在宅サービス課	コード	91704	連絡先電話番号	1176	昨年度整理番号	527		
係名 在宅支援係		上位施策名					NO		
予算事業名	機能訓練	コード	25720	高齢者の地域社会での介護予防と自立支援					31
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	7 年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有	平成 年度		(1) 老人保健法第12、18、20条				
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	(2) 老人保健事業実施要領						
	加齢や病気などにより家に閉じこもりがちな高齢者等に対し、自主的に心身機能の維持向上の活動を行なっているグループ。				(3) 杉並区地域リハビリテーション自主グループ支援事業実施要綱				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				活動指標名(式)				
グループからの申請に基づき、スタッフの派遣、バスハイク等実施時のバスの提供、有料施設利用にかかる経費の助成などの支援を行なう。				(1) 年間活動延人数					
				(2) 団体数					
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				成果指標名(式)					
加齢や病気などにより家に閉じこもりがちな高齢者等の生きがいと社会参加の場を確保する。				(1) 活動参加率(活動参加者数÷グループ登録者数)					
				(2)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか									
家に閉じこもりがちな高齢者等に活動の場を確保することで、できる限り要介護状態に陥ることないように、また、要介護状態の方は要介護度の進行を防止し、高齢者が地域で生き生きとした生活が送れることに貢献している。									

区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
				計画	実績		15	年度				
指標	活動指標(1)	人	7938	8812	8335	10922	16900					
	活動指標(2)	団体	48	50	50	54	59	63				
	成果指標(1)	%	46	50		65						
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	17,897	14,449	13,121	11,694	20,156					
	職員数(正規 非常勤)	人	3.78	3.31	2.00	2.19	2.60	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	34,296	30,032	18,146	19,870	23,590	平成12年度に補助金の助成内容を、運営費補助から有料施設の施設費補助のみに見直すと同時に、機能訓練の通所バスを地域リハビリ自主グループに活用できるように、契約内容を変更した。また、各保健センターの常勤保健婦の支援も、側面的な支援に見直した。13年度からは、高齢者在宅サービス課の保健婦が支援している。			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +	千円	52,193	44,481	31,267	31,564	43,746					
	単位あたりコスト ÷	円	6,575	5,048	3,751	2,890	2,589					
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都からの支出金	千円	5,280	5,206	5,226	7,466	10,032				
		その他特定財源	千円									
		特定財源計 + +	千円	5,280	5,206	5,226	7,466	10,032				
差引:一般財源 -	千円	46,913	39,275	26,041	24,098	33,714						
受益者負担比率 ÷	%											
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	平成7年度に、通所機能訓練終了後などの加齢や疾病等により心身機能の低下した区民を主体とした団体の自主的な活動に対して支援を開始。介護保険制度が実施された平成12年度は、本事業を介護予防事業と位置付け、支援内容を見直すとともに、所管を保健衛生部から高齢者福祉部に移管した。平成13年度からは、地域ささえ愛グループと改名し、事業を実施している。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	活動の場を定期的に確保できるようにしてほしい。ボランティアを紹介してほしい。開催場所までの交通手段を確保してほしい。グループ活動日にバスハイクのバスを提供してほしい。区民にグループのPRをしてほしい。支援スタッフを増やしてほしい。										
	今後の予測	介護保険サービスや区の実施するサービスとは別に利用できるサービスとして事業を展開していく。特に、参加している高齢者等が主体的に運営しているため、生きがい活動としての役割は大きい。また、家族等がともに参加することも多く、家族等の交流の場でもあり、地域の高齢者のネットワークの拠点となることが期待される。										

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		若年性痴呆症者支援				整理番号	230		細番号		
所属部課名		保健福祉部高齢者在宅サービス課		コード	91704	連絡先電話番号	1176		昨年度整理番号		
係名				在宅支援係		上位施策名			NO		
予算事業名				若年性痴呆症者支援		コード	25730		高年齢者の地域社会での介護予防と自立支援		
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12年度		根拠法令等	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期				<input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 杉並区保健福祉計画		
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区若年性痴呆症者支援事業実施要綱				
	介護保険の対象にならない40歳未満及び40歳以上65歳未満の特定疾病以外の疾病による痴呆症者				(3)						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				活動指標名(式)						
保健センターから「保健福祉サービス利用証」の交付を受けた者に対し、介護保険に準じたサービスを提供する。				(1) 生活支援サービス利用実人数							
				(2)							
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				成果指標名(式)							
若年性痴呆症者が通所施設等を利用し、機能訓練を行うとともに閉じこもりを予防する。				(1) 生活支援サービス利用実人数 ÷ 介護保険の該当とならない保健福祉サービス利用証交付者数							
				(2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか											
若年性痴呆症者の機能低下を防ぎ、家族を介護から開放する。											

  

区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
				計画	実績		年度	年度		
指標	活動指標(1)	人			6	1	7			
	活動指標(2)									
	成果指標(1)	%			100	16.7				
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円			14,227	262	9,126			
	職員数(正規   非常勤)	人			0.20	0.15	0.10	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	1,815	1,361	907		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	0	0	16,042	1,623	10,033			
	単位あたりコスト ÷	円			2,673,600	1,622,950	1,433,329			
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都からの支出金	千円							
		その他特定財源	千円							
		特定財源計 + +	千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -	千円	0	0	16,042	1,623	10,033				
受益者負担比率 ÷	%									

  

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	介護保険実施前に調査した若年性痴呆症者25人のうち、介護保険該当者18人、未申請者だが介護保険該当と思われる者1人、残り6人が該当 また、今年度新たに1人申請あり
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	希望するサービスの受入れ施設の確保
	今後の予測	対象者からサービスの申請があった場合は、できるだけその意向にそうように努める。



# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名	老人保健制度の医療の給付等	整理番号	1011	細番号			
所属部課名	保健福祉部高齢者在宅サービス課	コード	91707	連絡先電話番号			
			1133	昨年度整理番号			
係名	高齢者医療係	上位施策名	NO				
予算事業名	療養の給付	コード	91310	生涯を通じた健康づくりの支援			
				23			
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	58	年度	根拠法令等	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	<input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有	平成	年度	(1) 老人保健法		
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他			(2) 老人保健法施行令		
	医療保険に加入している、70歳以上又は65歳以上の障害認定を受けた区内在住者				(3) 老人保健法施行規則		
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				活動指標名(式)		
	対象者に対し、保険医療機関等において医療の給付を行う。また医療の給付を行うことが困難である場合は、医療費の支給を行う。医療の給付及び医療費の支給に際して、国民健康保険団体連合会等に対し審査・支払手数料を支払う。				(1) 老人保健医療特別会計の医療費支払件数		
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				成果指標名(式)			
高齢者の健康を保持するため、心身の状況に応じた適切な医療を提供する。				(1) 1人当たり受診件数			
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか				(2) 1人当たり医療費			
高齢者が安心して医療を受けることができることにより、健康づくりに役立っている。							

区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%		
				計画	実績		年度	年度			
指標	活動指標(1)	件	1,512,052	1,638,887	1,844,314	1,736,588	1,961,750	なし			
	活動指標(2)	千円	39,362,261	42,399,637	43,363,622	41,658,146	46,702,856	なし			
	成果指標(1)	件	27.08	28.42	31.31	29.14	32.21	なし			
	成果指標(2)	円	704,924	735,250	736,224	699,056	766,878	なし			
総事業費・コスト把握	事業費	千円									
	職員数(正規   非常勤)	人	7.50   3.00	7.50   3.00	6.50   3.00	6.50   3.00	6.50   3.00	特記事項			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	68,048	68,048	58,975	58,975	58,975	人件費以外の事業費については、一般会計の「老人医療等事務」に記載。受診者の一部負担金を除いた老人医療費は、保険者の拠出金及び国・都・区の公費負担により支払われる。		
		非常勤職員分	千円	8,817	8,817	8,817	8,817	8,817			
	総事業費 + +		千円	76,865	76,865	67,792	67,792	67,792			
	単位あたりコスト ÷		円	51	47	37	39	35			
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都からの支出金	千円								
		その他特定財源	千円								
		特定財源計 + +	千円	0	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	76,865	76,865	67,792	67,792	67,792				
受益者負担比率 ÷		%									

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	高齢化により、医療費支払件数・総医療費ともに増加を続けている。平成12年度には介護保険制度が導入され、老人保健施設療養費全件・訪問看護療養費及び医科入院の一部が介護へ移行したが、総件数の減には至っていない。平成3年度 受診件数 939、229件 医療費 25、219、472千円
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	老人医療費の自己負担が増加傾向にあることに対し不満がある一方で、老人医療制度の維持のためには、高齢者も応分の負担をすべきであるという意見もある。
	今後の予測	高齢者が窓口で支払う一部負担金を除く医療費の7割は保険者からの拠出金で賄われている。急激な勢いで伸び続ける老人医療費を保険者が支える拠出金制度も限界にきており、抜本改革が求められている。平成14年度には老人医療制度の改革が予定されている。

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		住宅改修支援				整理番号	231		細番号		
所属部課名		保健福祉部 介護保険課		コード	92000	連絡先電話番号	1337		昨年度整理番号		
係名 給付係				上位施策名				NO			
予算事業名		ケアマネージャー等支援		コード	25735	介護保険サービスの基盤整備			32		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 14年度				(1) 杉並区介護保険住宅改修支援事業実施要綱						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 介護支援専門員等				(2)						
					(3)						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 介護支援専門員等が居宅介護（支援）住宅改修費の支給の申請に係る理由書を作成した場合、これらの者に対して1件あたり2,000円を助成する。				活動指標名(式) (1) 助成金交付件数  (2)						
	意図（対象をどのような状態にしたいのか） 介護保険制度上無報酬となっている、住宅改修に関する相談・助言や「理由書」作成について、介後支援専門員等に対し助成することにより、被保険者の住宅改修サービス利用における専門員等の積極的な関わりを促す。				成果指標名(式) (1) 居宅介護(支援)住宅改修費支給件数  (2)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 介護支援専門員等に対し利用者が相談しやすい環境ができ、住宅改修の利用が促進される。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画		目標値	目標値に対する12年度の達成率%	
					計画	実績			年度		
指標	活動指標(1)		件			390	22	1,560			
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		件				917				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円			856	66	3,417			
	職員数(正規   非常勤)		人			0.01	0.01	0.20		特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	91	91	1,815			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	0	0	947	157	5,232			
	単位あたりコスト ÷		円			2,428	7,124	3,354			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都からの支出金		千円			642	49	2,562		
		その他特定財源		千円							
		特定財源計 ++		千円	0	0	642	49	2,562		
差引:一般財源 -		千円	0	0	305	108	2,670				
受益者負担比率 ÷		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		住宅改修のみを希望する利用者にとって、住宅改修にかかる相談・助言や「理由書」作成は無報酬であったため、介護支援専門員を見付けにくい要因ともなっていたことを受け、平成13年1月より当事業が開始された。1月以降の着工・理由書作成かつ住宅改修費支給決定後であることが条件のため、12年度中の助成決定は少なかったが、13年度に入り確実に実績は上がっている。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		特になし								
	今後の予測		13.14年度は住宅改修申請件数自体が増加する見込みであり、当事業も増加すると考えられる。国は、次期介護報酬見直しの機会(平成15年度)に、介護報酬における住宅改修にかかる介護支援専門員の業務の位置付けについて、再検討を行う予定である。								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		短期入所振替利用援助			整理番号	232		細番号			
所属部課名		保健福祉部 介護保険課		コード	92000		連絡先電話番号	1337			
係名 給付係		上位施策名					昨年度整理番号		NO		
予算事業名		ケアマネージャー等支援		コード	25735		介護保険サービスの基盤整備		32		
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成 12年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期		○無 ●有 平成 13年度		(1) 杉並区介護保険短期入所サービス振替利用援助事業実施要綱						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 居宅介護支援事業者		(2)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		介護保険サービスにおいて、訪問通所サービスの支給限度基準額について短期入所への振替利用を希望する場合、必要な相談・援助を行う居宅介護支援事業者に対し、1月1件あたり2,000円を助成する。		(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		介護保険サービスにおいて、訪問通所サービスの支給限度基準額について短期入所への振替利用を希望する場合、必要な相談・援助を行う居宅介護支援事業者に対し、1月1件あたり2,000円を助成する。		活動指標名(式)						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		介護保険制度上無報酬となっている、振替利用に関する相談・助言や「利用票」作成、施設との連絡調整について、居宅介護支援事業者に対し助成することにより、被保険者の振替利用において事業所がその役割を積極的に発揮することを促す。		成果指標名(式)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		居宅介護支援事業者の積極的な役割の発揮により、被保険者が安心して利用できる環境ができ、短期入所の振替利用が促進される。									
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		件			90	11	540			
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		件				60				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円			199	22	1,184			
	職員数(正規   非常勤)		人			0.01	0.01	0.10	特記事項 短期入所の振替利用は平成12年10月開始であり、成果指標の実績には、それ以降の利用を含む		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	91	91	907			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	0	0	290	113	2,091			
	単位あたりコスト ÷		円			3,219	10,248	3,873			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都からの支出金		千円			149	16			888
		その他特定財源		千円							
		特定財源計 + +		千円	0	0	149	16			888
差引:一般財源 -		千円	0	0	141	97	1,203				
受益者負担比率 ÷		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		受け持つ利用者が振替利用のみを希望する場合、必要な介護支援専門員の業務については無報酬となる問題を是正するため、平成13年1月より当事業が開始された。1月以降の振替利用かつ振替利用に対する介護給付費等の支給決定後であることが条件のため、12年度中の助成決定は少なかったが、13年度に入り確実に実績は上がっている。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		特になし								
	今後の予測		平成14年1月に支給限度基準額の一本化に伴い、振替利用自体が廃止となり、それに対する助成も終了する。								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ホームヘルプサービス利用者負担助成				整理番号	234		細番号	
所属部課名		保健福祉部 介護保険課		コード	92000		連絡先電話番号	1337		
係名 給付係		上位施策名						NO		
予算事業名		低所得者利用者負担軽減		コード	25740		介護保険サービスの基盤整備		32	
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12年度		根拠法令等			
	事業終期		<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有		平成 16年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区介護保険法施行時における訪問介護利用者に対する助成事業運営要綱 (2) 杉並区障害者ホームヘルプサービス利用者に対する助成事業運営要綱 (3)					
	ホームヘルプサービスを利用する居宅要介護被保険者等									
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		介護保険法の施行に伴う利用者負担の激変緩和のため、国の特別対策により、訪問介護を利用する低所得の高齢者・障害者に対し、利用者負担額の一部を助成する（平成12年度は、高齢者・障害者とも利用者負担額について、10%を3%に減額）国の特別対策期間は平成12年度から16年度の5年間である。		活動指標名(式)					
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		低所得者の負担を軽減することにより、訪問介護サービスの継続的利用を促進する。		成果指標名(式)						
				(1) 助成金額 / 減額認定者数						
				(2)						
				意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか						
				低所得者の介護保険サービス全体の利用を促進する。						
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		件			1,373	1,535	1,400		
	活動指標(2)									
	成果指標(1)		円				40,261			
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円			63,392	63,136	80,770		
	職員数(正規   非常勤)		人			1.10	1.18	1.00	特記事項 活動指標(1)における実績は、延べ認定者数である。	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	9,980	10,706	9,073		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	0	0	73,372	73,842	89,843		
	単位あたりコスト ÷		円			53,439	48,106	64,174		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都からの支出金		千円			47,544	47,352		60,577
		その他特定財源		千円						
		特定財源計 + +		千円	0	0	47,544	47,352		60,577
差引:一般財源 -		千円	0	0	25,828	26,490	29,266			
受益者負担比率 ÷		%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成12年4月1日制度開始。当初の減額認定者数 1374人に対し、高齢者については経過措置のみで新規認定がないため、資格喪失・施設入所等により、平成13年5月7日現在減額認定者数 1357人と若干減少している。							
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		減額認定対象者の拡大(所得要件の緩和・高齢者における新規認定の新設)。							
	今後の予測		減額認定者数については、障害者においては若干ずつ増加していくが、高齢者においては新規認定がなく、減少していく。負担率については、障害者は16年度まで変わらず3%だが、高齢者は15・16年度は負担率が3%から6%(予定)にあがり、負担が増加することにより、サービス利用にも影響が考えられる。							

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高額介護サービス費等資金貸付基金				整理番号	235		細番号			
所属部課名 保健福祉部 介護保険課		コード	92000		連絡先電話番号	1337		昨年度整理番号				
係名 給付係		上位施策名						NO				
予算事業名 高額介護サービス費等資金貸付基金		コード	25750		介護保険サービスの基盤整備				32			
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 杉並区介護保険高額介護サービス費等資金貸付基金条例							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区介護保険高額介護サービス費等資金貸付基金条例施行規則									
	介護保険の被保険者で、保険給付の支給対象となるサービスを利用した者		(3)									
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		活動指標名(式)									
	介護保険の被保険者が保険給付の支給対象となるサービスを利用した場合、希望者に必要な資金の貸付を行う。		(1) 貸付件数									
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		成果指標名(式)										
必要な資金の貸付により、高額介護サービス費や償還払いの支給決定までの間の被保険者の生活の安定を図り、安心してサービスの利用ができるようになる。		(1) 貸付件数 / 高額介護サービス費等支給件数										
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		(2)										
介護保険サービスの利用が促進される。												
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
				計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)	件				38						
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	%				0.78						
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円			30,000	30,000						
	職員数(正規   非常勤)	人			0.10	0.11	0.10	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	907	998	907	平成12年4月一般会計を財源とし、3,000万円の運用基金を設置。			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +	千円	0	0	30,907	30,998	907					
	単位あたりコスト ÷	円				815,738						
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都からの支出金	千円									
		その他特定財源	千円									
		特定財源計 + +	千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	0	0	30,907	30,998	907					
受益者負担比率 ÷	%											
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	資金貸付制度の周知度向上と、介護保険サービスの利用拡大により、開始年度の前半に比べ後半は件数金額とも、2倍以上に増加している。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	特になし										
	今後の予測	今後も資金貸付制度の周知度向上と、介護保険サービスの利用拡大により、貸付件数は増加していく。										



# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		介護保険円滑導入基金				整理番号	236		細番号		
所属部課名		保健福祉部介護保険課		コード	92000		連絡先電話番号	1333			
係名		管理係		上位施策名				NO			
予算事業名		介護保険円滑導入基金積立金		コード	25760		介護保険サービスの基盤整備		32		
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		11年度		根拠法令等				
	事業終期		<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有		平成 13年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		保険者 (杉並区)		(1) 杉並区介護保険円滑導入基金条例 (2) (3)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		国の介護保険料特別対策 (第1号保険料を12年9月までは徴収せず、その後1年間は1/2に軽減) に要する保険料相当額及び保険料軽減システム開発費、普及啓発費について交付された平成11年度介護保険円滑導入臨時特例交付金により基金を設置。平成12・13年度に介護保険事業会計、一般会計に繰入れた後解散。		活動指標名 (式)		(1) 第1号被保険者数 (2) 基金処分額				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		区民が徐々に制度に慣れていくための経過措置として介護保険料特別対策を実施し、介護保険制度の円滑な導入・運営を図る。		成果指標名 (式)		(1) 基金処分額累計 (2)				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 介護保険制度が円滑に導入され、運営される。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績		13年度			
指標	活動指標 (1)		人			85,144	87,421	87,020	87,020	100.0	
	活動指標 (2)		千円			2,469,714	2,469,714	860,331			
	成果指標 (1)		千円			2,469,714	2,469,714	3,330,045	3,330,045	74.2	
	成果指標 (2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円		3,321,683	4,000	6,223	2,139			
	職員数 (正規   非常勤)		人		0.10	0.10	0.10	0.10	特記事項		
	人件費	職員分 (超勤分含む)	千円	0	907	907	907	907			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	0	3,322,590	4,907	7,130	3,046			
	単位あたりコスト ÷		円			58	82	35			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都からの支出金		千円		3,322,590					
		その他特定財源		千円			4,000	6,223	2,139		
		特定財源計 + +		千円	0	3,322,590	4,000	6,223	2,139		
差引: 一般財源 -		千円	0	0	907	907	907				
受益者負担比率 ÷		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成12年3月22日基金設置 3,321,683,000 平成12年度基金利子再積立 6,222,519 平成12年度介護保険事業会計へ繰入 2,439,714,000 平成12年度一般会計へ繰入 30,000,000 平成13年4月2日現在基金積立額 858,191,519								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		特になし。								
	今後の予測		この基金は平成14年3月31日をもって解散する。								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		介護保険管理事務（庶務事務）				整理番号	1012		細番号			
所属部課名		保健福祉部介護保険課		コード	92000	連絡先電話番号	1333		昨年度整理番号			
係名				管理係		上位施策名			NO			
予算事業名		一般事務		コード	91505	介護保険サービスの基盤整備			32			
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 介護保険法							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 介護保険の被保険者及び介護保険事務に従事している職員				(2)							
					(3)							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 介護保険事業運営に要する一般事務経費の執行管理				活動指標名(式)							
					(1) 職員数							
				(2)								
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 介護保険事業を円滑に実施できる体制を確保する。				成果指標名(式)								
				(1) 一人あたり事務費								
				(2) 一人あたり事務費増加率								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 介護保険事業の円滑な運営を確保する。												
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
				計画	実績		年度	年度				
指標	活動指標(1)	人			26	26	40					
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	円			93,711	55,079	60,507					
	成果指標(2)	%					109.9					
総事業費・コスト把握	事業費	千円			3,757	2,046	5,162					
	職員数(正規   非常勤)	人			0.20	0.21	0.20	特記事項 成果指標(1)一人あたり事務費は、管理事務費から保険料等収納取扱手数料を控除した純事務費である。この手数料については、14年度予算から本来の執行項目に計上する。				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	1,815	1,905			1,815		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			0		
	総事業費 + +	千円	0	0	5,572	3,951	6,977					
	単位あたりコスト ÷	円			214,292	151,974	174,415					
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都からの支出金	千円									
		その他特定財源	千円			2,757				4,162		
		特定財源計 + +	千円	0	0	2,757	0			4,162		
差引：一般財源 -		千円	0	0	2,815	3,951	2,815					
受益者負担比率 ÷	%											
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	平成12年4月1日から開始した新規事業である。										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	特になし。										
	今後の予測	人口の高齢化による被保険者の増加に伴い、経常的事務経費の増加が見込まれる。										

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		介護保険資格賦課事務				整理番号	1013		細番号			
所属部課名		保健福祉部介護保険課		コード	92000	連絡先電話番号	1334		昨年度整理番号			
係名				資格保険料係		上位施策名			NO			
予算事業名				一般事務		コード	91505		介護保険サービスの基盤整備			
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12年度		根拠法令等	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期				<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 介護保険法、同法施行法、同法施行令、同法施行規則			
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		介護保険の被保険者		(2) 杉並区介護保険条例			
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				介護保険の被保険者の資格管理（被保険者証の交付・更新・回収、転出者への受給資格証明書の交付等）及び介護保険料を賦課する。		活動指標名（式）		(3) 杉並区介護保険に関する規則			
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）				介護保険の被保険者の資格を管理し、第1号被保険者の保険料を適正に賦課する。		成果指標名（式）		(1) 第1号被保険者数			
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか				介護保険事業の健全な運営を確保する。				(2) 第2号被保険者数(要介護認定者)				
								(1) 第1号被保険者数対前年度比				
								(2) 第2号被保険者数(要介護認定者)対前年度比				
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
				計画	実績		16年度	年度				
指標	活動指標(1)	人			85,144	87,421	87,020	90,780	96.3			
	活動指標(2)	人				242						
	成果指標(1)	%										
	成果指標(2)	%										
総事業費・コスト把握	事業費	千円			16,403	12,579	21,524					
	職員数(正規   非常勤)	人			5.50	5.63	4.90	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	49,902	51,081	44,458	成果指標(1)(2)は、平成13年度実績から表示される。			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +	千円	0	0	66,305	63,660	65,982					
	単位あたりコスト ÷	円			779	728	758					
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都からの支出金	千円									
		その他特定財源	千円			16,403	11,650	21,524				
		特定財源計 + +	千円	0	0	16,403	11,650	21,524				
差引:一般財源 -		千円	0	0	49,902	52,010	44,458					
受益者負担比率 ÷	%											
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	平成12年度から介護保険制度が始まったが、第1号被保険者の保険料賦課は、政府の特別対策により、半年徴収せず、その後、1年間は、半額となった。										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	介護保険制度をしらなかった。制度がよくわからない。保険料の算定方法がよくわからない。										
	今後の予測	平成13年9月に政府の特別対策が終了し、保険料額が本来の額になるため、多くの問合せや相談が寄せられると予想される。										

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		介護保険収納事務				整理番号	1014		細番号		
所属部課名		保健福祉部介護保険課		コード	92000	連絡先電話番号	1334		昨年度整理番号		
係名		資格保険料係		上位施策名					NO		
予算事業名		一般事務		コード	91505	介護保険サービスの基盤整備			32		
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12年度		根拠法令等				
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 介護保険法、同法施行法、同法施行令、同法施行規則 (2) 杉並区介護保険条例 (3) 杉並区介護保険に関する規則						
	介護保険の第1号被保険者										
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		介護保険料及び滞納金の徴収並びに過誤納金の還付・充当を行う。普通徴収の方へは口座振替を勧奨する。特別徴収義務者（社会保険庁等）への過納金の返納を行う。		活動指標名(式)						
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		口座振替等保険料の納付しやすい手段（方法）を提示し、また、滞納者には分割納付等の納付相談に応じる。		成果指標名(式)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		介護保険事業の健全な運営を確保する。		(1) 現年度分介護保険料収納率(普通徴収) (2) 口座振替加入率							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 介護保険事業の健全な運営を確保する。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績		14年度			
指標	活動指標(1)		人			85,144	87,421	87,020	88,698	98.6	
	活動指標(2)		千円			810,133	812,259	2,483,949	3,376,073	24.1	
	成果指標(1)		%			99	90	99	99	90.9	
	成果指標(2)		%			20	13.5	30	40	33.8	
総事業費・コスト把握	事業費		千円			5,974	3,697	10,763			
	職員数(正規・非常勤)		人			4.70	4.81	5.30	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	42,643	43,641	48,087			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	0	0	48,617	47,338	58,850			
	単位あたりコスト ÷		円			571	541	676			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円			5,974	3,697	10,763		
		特定財源計 ++		千円	0	0	5,974	3,697	10,763		
差引:一般財源 -		千円	0	0	42,643	43,641	48,087				
受益者負担比率 ÷		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成12年度から介護保険制度が始まったが、第1号被保険者の保険料収納は、政府の特別対策により、半年徴収せず、その後、1年間は半額となった。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		介護保険制度を知らなかった、保険料の算定方法がよくわからない。高齢者から保険料を徴収しないでほしい。年金からの差引きになると思っていた。年金から保険料を引かないでほしい。								
	今後の予測		平成13年9月に政府の特別対策が終了し、保険料額が本来の金額になるので、普通徴収の収納率への影響が予想される。また、法定されている未納者への給付制限を平成13年10月から行う。								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		介護保険給付事務		整理番号	1015	細番号	
所属部課名		保健福祉部 介護保険課		コード	92000	連絡先電話番号	1337
係名		給付係		上位施策名			NO
予算事業名		一般事務		コード	91505	介護保険サービスの基盤整備	
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 介護保険法
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		要介護（要支援）認定を受けた被保険者		(2) 介護保険法施行令
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		現物給付及び償還払いにより行う介護サービス費等の保険給付の支出、または減額認定、給付管理等、必要な給付事務処理を行う。		活動指標名(式)		(3) 介護保険法施行規則
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）		要介護（要支援）認定を受けた被保険者に対し、確実かつ迅速に保険給付を行う。		成果指標名(式)		(1) 要介護（要支援）認定を受けた被保険者数
						(2) 介護保険サービス受給者数	
						(1) 給付件数(高額サービス費を含む)187,370 / 要介護(要支援)認定を受けた被保険者数	
						(2) 給付件数(高額サービス費を含む)187,370 / 介護保険サービス受給者数	
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 介護保険サービスの安定的な供給により、介護保険制度の健全な運営を図る。							

区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
				計画	実績		16年度	年度		
指標	活動指標(1)	人			10,549	9,884	10,865	11,644	84.9	
	活動指標(2)	人				7,701				
	成果指標(1)	%				19.0				
	成果指標(2)	%				24.3				
総事業費・コスト把握	事業費	千円			13,588	1,343	7,937			
	職員数(正規   非常勤)	人			1.80	1.93	1.85		特記事項 高額介護サービス費・減額認定の更新等において、対象者への申請勧奨を行っている。(更新勧奨は13年度以降)	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	16,331	17,511	16,785		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	0	0	29,919	18,854	24,722			
	単位あたりコスト ÷	円			2,836	1,908	2,275			
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都からの支出金	千円							
		その他特定財源	千円			13,588	1,343	7,937		
		特定財源計 + +	千円	0	0	13,588	1,343	7,937		
差引:一般財源 -		千円	0	0	16,331	17,511	16,785			
受益者負担比率 ÷	%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	平成12年4月1日制度開始。以降、要介護(要支援)認定を受けた被保険者やサービス事業者の増加、制度の周知により、介護サービス費等の給付件数、減額認定件数(経過措置を除く)とも増えている。また、制度開始当初の混乱もひと段落し、安定したサービス利用ができるようになった。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	利用者への支給金の振込先金融機関に、郵便局も加えてすみやかに給付を受けられるようにしてほしい。いろいろな書類が多いので、手続きをわかりやすく。受付窓口を拡大してほしい。								
	今後の予測	高齢化にともない、要介護(要支援)認定を受けた被保険者も増加し、給付件数・減額認定件数とも増大する。								



# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		東京都国民健康保険団体連合会負担金				整理番号	1018		細番号		
所属部課名		保健福祉部介護保険課		コード	92000		連絡先電話番号	1333			
係名		管理係		上位施策名					NO		
予算事業名		東京都国民健康保険団体連合会負担金		コード	91510		介護保険サービスの基盤整備		32		
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 東京都国民健康保険団体連合会会員負担金規定			
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		東京都国民健康保険団体連合会		(2)			
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）			東京都国民健康保険団体連合会が平成11年度に要した介護保険準備経費を、都内各保険者が平成12・13年度に分割して負担する。		活動指標名(式)		(1) 第1号被保険者数			
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）			東京都国民健康保険団体連合会が平成11年度に借り入れた「長期借入金」を2年間で償還する。		成果指標名(式)		(1) 負担額累計			
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 東京都国民健康保険団体連合会の行う「介護報酬の審査・支払」「再審査・過誤調整」等がスムーズに行われる。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績		13年度			
指標	活動指標(1)		人			85,144	87,421	87,020	87,020	100.0	
	活動指標(2)		千円			5,830	5,830	1,542			
	成果指標(1)		千円			5,830	5,830	7,372	7,372	79.0	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円			5,830	5,830	1,542			
	職員数(正規 非常勤)		人			0.01	0.01	0.01	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	91	91	91			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	0	0	5,921	5,921	1,633			
	単位あたりコスト ÷		円			70	68	19			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円			5,830	5,830	1,542		
		特定財源計 ++		千円	0	0	5,830	5,830	1,542		
差引:一般財源 -		千円	0	0	91	91	91				
受益者負担比率 ÷		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成12年4月1日から開始した新規事業である。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		特になし。								
	今後の予測		平成13年度から新しく「介護保険給付実績分析システム」稼働の経費負担が予測される。								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		要介護認定				整理番号	1019		細番号				
所属部課名		保健福祉部介護保険課		コード	92000	連絡先電話番号	1303		昨年度整理番号	229			
係名				認定係		上位施策名			NO				
予算事業名				認定調査		コード	91517		介護保険サービスの基盤整備		32		
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		11年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期				<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 介護保険法				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		要介護認定申請者		(2) 介護保険法施行令				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				認定相談、申請受付、訪問調査 (依頼・受領・委託契約・支払)、意見書作成 (依頼・受領・支払)、審査会 (委員選定・開催・記録作成・報酬支払・資料作成)、認定結果送付		活動指標名 (式)		(1) 申請件数				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				公正・公平かつ迅速に認定を行う。		成果指標名 (式)		(2) 要介護認定件数				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか				公正・公平かつ迅速な要介護認定を行うことにより、介護保険制度への信頼と安定運営に寄与している。									
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
					計画	実績		14年度					
指標	活動指標(1)		件		9,761	19,575	19,112	21,252	23,971	79.7			
	活動指標(2)		件		8,441	19,575	17,211	21,252	23,971	71.8			
	成果指標(1)		件			19,575	8,854						
	成果指標(2)		%				46.3	55.0	60.0	77.2			
総事業費・コスト把握	事業費		千円		92,734	174,142	173,278	217,809					
	職員数 (正規   非常勤)		人		60.25	58.40	58.61	45.76	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円		546,648	529,863	531,769	415,180					
		非常勤職員分	千円		0	0	0	0					
	総事業費 + +		千円		639,382	704,005	705,047	632,989					
	単位あたりコスト ÷		円		65,504	35,965	36,890	29,785					
	財源	受益者負担分		千円		0	0	0	0				
		国・都からの支出金		千円		48,194	88,023	83,260	89,527				
		その他特定財源		千円		0	127,779	90,018	128,282				
		特定財源計 + +		千円		48,194	215,802	173,278	217,809				
差引: 一般財源 -		千円		591,188	488,203	531,769	415,180						
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		認定有効期間は原則6ヵ月であるが、本人の心身状況によっては審査会の意見により3ヵ月から12ヵ月まで短縮・延長が可能。平成13年1月から、申請者の利便及び認定事務の省力化を考慮して、更新認定の結果、前回と同一の要介護度の判定がなされた場合には、審査会の意見に基づき有効期間を12ヵ月に延長している。										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		公正・公平な審査の徹底。適正かつ迅速な認定に努めてほしい。										
	今後の予測		杉並区の65歳以上の人口推計では、平成13年度 87,020人、16年度 90,780人となっており、年々増加する高齢者人口に比例して、認定申請者も増加する。										

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		介護保険趣旨普及				整理番号	1020		細番号	
所属部課名		保健福祉部介護保険課		コード	92000	連絡先電話番号	1333		昨年度整理番号	282
係名				管理係		上位施策名			NO	
予算事業名				介護保険趣旨普及		コード	91520		介護保険サービスの基盤整備	32
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		11年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期				<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 介護保険法	
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		介護保険の被保険者		(2)	
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				介護保険の概要や手続きなど、制度に係る周知(介護保険パンフレット・介護保険だよりの作成、ポスターの作成・掲示、ビデオ作成・CATV放映、要介護認定申請勧奨、区広報掲載、ホームページ掲載等)を行う。		活動指標名(式)		(3)	
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				制度の理解を高めることにより、介護を必要とする者の保険利用を促進する。また、第1号被保険者の保険料納付の必要性についてPRし、滞納を防止していく。		成果指標名(式)		(1) 要介護認定申請者数	
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか				介護保険制度のより一層の普及と理解を実現する。		成果指標名(式)		(2) パンフレット作成数		
						成果指標名(式)		(1) 要介護認定者数		
						成果指標名(式)		(2) 収納率(普通徴収分)		
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 介護保険制度のより一層の普及と理解を実現する。										
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%	
					計画	実績		14年度		
指標	活動指標(1)		人	9,761	19,575	19,112	21,252	23,971	79.7	
	活動指標(2)		部	100,000	100,000	100,000	100,000	105,000	95.2	
	成果指標(1)		人	8,441	10,549	9,884	10,865	11,170	88.5	
	成果指標(2)		%		99	90	99	99	90.9	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,030	9,314	7,085	9,031			
	職員数(正規・非常勤)		人	2.18	1.00	1.04	1.00	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	19,779	9,073	9,436	9,073		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	0	22,809	18,387	16,521	18,104		
	単位あたりコスト ÷		円		2,337	939	864	852		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都からの支出金		千円						
		その他特定財源		千円						
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0	0	
差引:一般財源 -		千円	0	22,809	18,387	16,521	18,104			
受益者負担比率 ÷		%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		「介護保険制度準備」から平成12年4月1日に開始された「介護保険趣旨普及」へ変更。 平成12年度は「わたしたちの介護保険(平成12年度版)」「杉並区の介護保険(点字版)」「介護保険だより」「介護保険だより(点字版)(テープ版)」「介護保険料納付勧奨用ポスター」、ホームページ、ビデオ作成・CATV放映、ビデオ貸出し等を行っている。							
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		制度や利用方法、保険料の納付等について区民から問合せ、苦情がある。							
	今後の予測		これまでも、区広報、パンフレット等できる限りの方法により制度の周知に努めてきたが、各種調査の結果や介護相談等から制度への理解度はまだまだ十分とは言えない。これからも、さらに工夫を凝らした制度の普及が必要である。							

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		介護サービス費等の支給				整理番号	1021		細番号	
所属部課名		保健福祉部 介護保険課		コード	92000	連絡先電話番号	1337		昨年度整理番号	
係名 給付係				上位施策名				NO		
予算事業名		介護サービス費等の支給		コード	91525	介護保険サービスの基盤整備			32	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 介護保険法					
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 介護保険サービス利用者、介護保険サービス事業者				(2) 介護保険法施行令					
					(3) 介護保険法施行規則					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 介護サービス費等の保険者負担を、現物給付の場合は東京都国民健康保険団体連合会を通じて各事業者に支払う。高額介護サービス費等償還払いの場合は、利用者に支払う。				活動指標名(式)					
				(1) 要介護(要支援)認定を受けた被保険者数						
				(2) 介護保険サービス受給者数						
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 適正な介護サービス費等を支払うことにより、介護保険サービス利用者の生活の安定と、事業者の健全な事業運営を図る。				成果指標名(式)						
				(1) 給付額 / 要介護(要支援)認定を受けた被保険者数						
				(2) 給付額 / 介護保険サービス受給者数						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 保険給付を行うことにより、高齢者がその能力に応じた自立した生活を送ることができる。										
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
				計画	実績		14年度	年度		
指標	活動指標(1)	人			10,549	9,884	10,865	11,170	88.5	
	活動指標(2)	人				7,701				
	成果指標(1)	円			1,145,683	1,169,556	1,726,619	1,808,706	64.7	
	成果指標(2)	円				1,501,090				
総事業費・コスト把握	事業費	千円			12,085,805	11,559,893	18,759,716	20,203,246		
	職員数(正規・非常勤)	人			4.50	4.83	5.25	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	40,829	43,823	47,633		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++	千円	0	0	12,126,634	11,603,716	18,807,349			
	単位あたりコスト ÷	円			1,149,553	1,173,990	1,731,003			
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都からの支出金	千円			4,469,325	4,248,767	6,937,341		
		その他特定財源	千円			5,499,042	5,259,752	8,535,674		
		特定財源計 ++	千円	0	0	9,968,367	9,508,519	15,473,015		
差引:一般財源 -		千円	0	0	2,158,267	2,095,197	3,334,334			
受益者負担比率 ÷	%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	平成12年4月1日制度開始。以降、要介護(要支援)認定を受けた被保険者やサービス事業者の増加、制度の周知により、介護サービス費等の給付件数・給付額とも増加している。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	制度が分かりづらい、サービスが使いつらいなどの苦情がある。								
	今後の予測	高齢化にともない、要介護(要支援)認定を受けた被保険者も増加し、給付件数・給付額とも増大する。								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		財政安定化基金拠出金				整理番号	1022		細番号	
所属部課名		保健福祉部介護保険課		コード	92000	連絡先電話番号	1333		昨年度整理番号	
係名 管理係				上位施策名				NO		
予算事業名		財政安定化基金拠出金		コード	91560	介護保険サービスの基盤整備			32	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 介護保険法					
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 東京都				(2) 介護保険の国庫負担金の算定等に関する政令					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 区市町村の保険財政の安定化のため都に設置された財政安定化基金に国・都・保険者が1/3ずつ拠出する。その額は、介護保険の事業運営期間（同一保険料基準額の3年間）における保険給付見込総額の0.5%であり、3年間で均等に拠出する。				(3) 東京都介護保険財政安定化基金条例					
	活動指標名(式)				(1) 第1号被保険者数					
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 各保険者の保険料未納や給付費増等の財政不足に対して、都が財政安定化基金から交付・貸付が行なえるようにする。				成果指標名(式)						
				(1) 事業運営期間拠出金額累計						
				(2)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 保険者の財政が、保険料の未納や予測しない給付費の増が発生しても、基金からの交付・貸付で赤字に陥ることなく安定して運営される。										
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
				計画	実績		14年度	年度		
指標	活動指標(1)	人			85,144	87,421	87,020	88,698	98.6	
	活動指標(2)	千円			91,792	91,792	91,792			
	成果指標(1)	千円			91,792	91,792	183,584	275,375	33.3	
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円			91,792	91,792	91,792			
	職員数(正規   非常勤)	人			0.10	0.10	0.10	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	907	907	907		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	0	0	92,699	92,699	92,699			
	単位あたりコスト ÷	円			1,089	1,060	1,065			
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都からの支出金	千円							
		その他特定財源	千円							
		特定財源計 + +	千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	0	0	92,699	92,699	92,699			
受益者負担比率 ÷	%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	平成12年4月1日に開始された新規事業である。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	特になし。								
	今後の予測	事業運営期間3年間の拠出金額は決定されている。 平成12年度 91,791,607 平成13年度 91,791,605 平成14年度 91,791,605								



# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		介護保険給付費準備基金				整理番号	1023		細番号	
所属部課名		保健福祉部介護保険課		コード	92000	連絡先電話番号	1333		昨年度整理番号	
係名 管理係				上位施策名				NO		
予算事業名		介護保険給付費準備基金の積立		コード	91570	介護保険サービスの基盤整備			32	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 杉並区介護保険給付費準備基金条例					
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 保険者(杉並区)				(2)					
					(3)					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順) 介護保険の事業運営期間(同一保険料基準額の3年間)における財政の均衡を保つためにこの基金を設置し、介護保険事業会計に生じた歳計剰余金(保険料)を積み立てる。 介護保険の保険給付に要する費用に不足が生じた場合、この財源に充てるため、基金を処分する。				活動指標名(式) (1) 第1号被保険者数 (2) 積立額					
	意図(対象をどのような状態にしたいのか) 介護保険の保険給付に要する費用に不足が生じた場合、都の財政安定化基金の交付・貸付を受ける前に、この基金を処分することにより、区の介護保険財政の安定的運営を図ることができる。				成果指標名(式) (1) 処分量 (2) 積立残額					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 介護保険料基準額は事業運営期間3年間の保険給付見込総額の平均を基に算出されるため、保険料は1年目は剰余が発生し、逆に3年目は給付の伸びにより財源不足が生じることになる。したがって介護保険給付費準備基金の処分によって保険財政の安定運営を図ることができ、残額が多ければ次期事業運営期間の保険料基準額の上昇を抑制する財源にも活用できる。										
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%	
					計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		人			85,144	87,421	87,020		
	活動指標(2)		千円			1,031,303	1,031,303	1,565		
	成果指標(1)		千円			0	0	65,758		
	成果指標(2)		千円			1,031,303	1,031,303	967,110		
総事業費・コスト把握	事業費		千円			1,031,303	1,031,303	1,565		
	職員数(正規・非常勤)		人			0.10	0.10	0.10	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	907	907	907		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	0	0	1,032,210	1,032,210	2,472		
	単位あたりコスト ÷		円			12,123	11,807	28		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都からの支出金		千円						
		その他特定財源		千円					1,564	
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0	1,564	
差引:一般財源 -		千円	0	0	1,032,210	1,032,210	908			
受益者負担比率 ÷		%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成12年4月1日に開始された新規事業である。 一般的には、介護保険の事業運営期間の1年目は剰余金を積立て、2年目は保険料と給付費の収支が均衡し、3年目は給付費増による財源不足のため基金を処分することとなる。							
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		特になし。							
	今後の予測		上記のとおり、3年の事業運営期間毎の積立て・処分を繰返すこととなるが、基金に大幅な残が生じる場合、次期事業運営期間の保険料基準額の上昇を抑制する財源として活用できる。							